

広
報

ぬまた

4

2010.4. 22 NO.538



4月7日沼田小学校入学式 希望いっぱい、初授業

■今月のラインアップ

- 2 町制執行方針
- 14 教育行政執行方針
- 18 まちの予算
- 20 まちのしごと 概要版
- 28 入学式
- 30 まちのニュース
- 32 表彰・ほたる館情報

- 33 職員配置図
- 34 ゆめっくる
- 36 消報
- 37 沼田警察署より
- 38 ふれあいInformation
- 40 就任挨拶
- 42 お知らせ

人口4,000人復活をめざして

町民の皆さんに希望と生きがいを感じてもらうまちづくりに

執行方針2010

今月号では町の将来を見据えた執行方針の主な内容、22年度予算の概要と主な事業についてお知らせします。

私にとりまして今年度は、町長に就任して三期末の最終年となりますが、これまで一貫して「公平で公正な町民参加のまちづくり」を基本としながら、住民の皆様「この町にこれからも住み続けたい」と感じていただけるような、まちづくりに全力を傾注してまいりました。この間、深いご理解と温かいご支援を賜りました議員各位並びに町民の皆さんに心から感謝とお礼を申し上げる次第であります。

三位一体改革以来、財政的にも疲弊を続けてきた地方行政にとって、新政権が掲げる地方重視の姿勢については先ずは期待感を寄せるところではありますが、その柱となる「地域主権改革」については、それによりどのような国家像を目指すのか、国と地方の形はどうか、国と地方の形はどうか変わるのか等、改革の根幹に関わる方向性やビジョンが十分に示されていないことや、新たに展開するとしている各種施策についても、その意義や必要性、制度の内容、財源等が極めて不透明なことから、今後の国による政策全般がどのような方向に進むのかが見通せない状況にあり、当面はそれらの行方を注視せざるを得ないものと考えております。



沼田町長 西田 篤正

Mayor

Atsumasa Nishida

これまで国の主導で進められてきた市町村合併につきましては、現行特例法が失効する本年三月をもつて一区切りとなることもあり、今後は今まで以上に広域的な連携を模索しようとする動きが活発化するものと思われるが、自立を継続する上においては、より健全な財政運営が不可欠であり、引き続き行財政改革や協働のまちづくりの推進に力を注いで行かなければならないものと思っております。

行財政改革につきましては、当面の自立を選択した平成十七年以降、議員各位並びに町民の皆様のご理解をいただきながら「我が町再生プラン」に沿って様々な改革を進めてまいりました。

なお、「我が町再生プラン」については、本年度をもつて最終年度を迎えることとなりますが、

平成二十三年度以降の取り組みにつきましては、これまでの成果等を検証し、本年度最終年を迎える新たな総合振興計画の策定に併せて、総合的に検討を進めてまいりたいと考えております。

本町の基幹産業であります農業につきましては、昨年は六月後半以降の長雨や低温、日照不足等によりまして作物全般に亘って不作となり、特に稲作におきましては、作況指数九十一、製品反収四百三十二kg、高品位米比率一・八%と言う、質、量とも極めて残念な結果となりました。本年においては天候にも恵まれ、農家の皆様方のご苦勞が報われるような素晴らしい出来秋を迎えられるよう念願を致している次第です。

「住んでよかった」未来に向かって「住んでもらいたい」ぬまたを目指して

人口4,000人復活プロジェクト

定住・移住の促進

子育て支援

産業の活性化

教育環境の向上

暮らしの安心・安全・快適

持続可能なまちづくりに向けて人口4,000人復活を目指します！

本町の人口は、平成二十一年一月末現在で三七六〇人となっており、昨年の同時期と比べて五十五人の減少となっております。少子高齢化が進み、また、この三月末には沼田高校も閉校となるなど、状況は決して明るいものではありませんが、本町に備わった自然環境や様々な資源等を生かしながら企業誘致活動や移住定住事業、情報発信事業等を積極的に展開しながら、これまで積み上げて来た施策の補完、充実を図り、積極的なまちづくりの目標として、「人口四〇〇〇人の復活」を掲げ、医療や福祉、教育、子育て等の支援を通じて、住民の皆様にご「希望」と「生きがい」を感じてもらえるまちづくりに努力してまいります。

以下、各予算を通じて各般の項目とその概要を申し上げます。

住民参加で進める

まちづくり

「住民との協働で進めるまちづくり」を更に推進するためには、住民の皆様との情報の共有が必要であることから、広報等による情報提供のほか、住民からの意見を聞くための広聴事業を強化していきます。

また、ゴミの分別の細分化に伴う収集方法の見直しのほか、今後解決していかなければならない諸課題に対しては、住民の皆様と共に関心、役割を共に分かち合いながら対応して行く姿勢が必要になってきています。

この程、組織の見直しを行い、新たな体制でスタートした自治振興協議会との連携を深めながら、これまでのグリーンルール21や明日萌景観保存活動をはじめ

めとする様々な取り組みを更に発展させるとともに、地域の自主的な活動を促してまいりたいと考えています。

また、複雑で多様化する福祉政策の着実な実施とごみの減量化を始めとする生活環境対策が、今後大きな行政課題になりつつあることを踏まえて、きめ細かな住民サービスを提供するため、現在の住民生活課を分割し、新たに一課を設けることを中心とした役場組織の見直しを図ります。

明日に生きる

農業の振興

平成21年度 独自農業支援対策

平成22年度における町独自の農業支援対策としては、「新時代農業経営高度化事業」において、結婚した後継者への支援枠を新たに設けるほか、「土づくり推進事業」においては堆肥運搬事業枠を80台から150台へ拡大、更に安全・安心な作物づくりのための土壌残留農薬に係る診断に対して助成枠を新たに設けることとしています。



■農地の流動化対策

農地の流動化対策については、平成二十一年度で第3期の農地保有合理化支援事業が終了いたしました。農業経営主の高齢化と後継者不足から、今後も離農による農地の流動が予測されることから、これら農地の集積を図り、耕作放棄の防止、また、農地の受け手農業者の負担軽減を図る上からも支援策の継続が必要であり、平成二十二年度からの三年間、「農地保有流動化対策事業」に対し、引き続き予算計上したところで





■農産物交流

昨年十月に小矢部市との間で覚書を交わして取り進めております農産物交流事業につきましては、平成二十二年度も小矢部市での農産物の販売活動経費を予算計上致しておりますが、この交流事業の充実や農業の六次産業化を視野に入れながら、町内生産者やJA、商工会、農産物等加工販売団体等との連携方策について協議を進めていきます。



■有害鳥獣対策

平成二十年度から実施しております「くくり罠」による鹿の駆除対策は、農業者の積極的な狩猟免許の取得等から捕獲頭数も増加しており、着実にその成果が上がってきているところであります。しかし、積雪量の減少、暖冬の影響から鹿は増殖傾向にあることは変わらず、これに伴う農作物の被害も増加傾向となっておりますので、今年度においても、沼田町有害鳥獣対策委員会と連携をしながら鹿の駆除対策を継続して取り進めることとしていきます。

■農産加工場の経営

農産加工場の運営については、昨年の天候不順の影響から加工用トマトの生産量が減少、これに伴いトマトジュースの製造量も当初計画の約七十五%に止まりました。

こうした状況でありましたが、平成二十二年度においては、販売先ごとの営業展開を検討するほか、委託事業の積極的な受注や昨年度から試作を進めてきた新商品の販売等による販売額の確保と効率的な作業体系の確立による経費の節減により健全運営に努めていきます。



■就農支援実習農場

就農支援実習農場につきましては、平成二十一年度から五カ山地区模範牧場の運営を統合するほか、国の地域活性化交付金事業等を活用したイチゴ栽培に取り組み、健全経営と実習内容の充実を目指してきました。

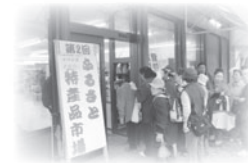
運営状況においては、生産物の市場価格の低迷等から販売額が伸び悩み、また、実習生確保も予想を下回ったことなどから収支においては厳しい状況にあり、実習内容についても一部作業に偏りがちになる傾向となっております。

たところですが、こうしたことから、昨年十二月に策定した運営改善計画に基づき、平成二十二年度から実習内容を農業全般に広げることを見直しとしていきます。このことにより、研修生に、より充実した実習機会の提供を図り、実習農場の運営の効率化を図っていきます。



活力に満ちた

商工業と観光の振興



長引く世界的な大不況の中、一向に景気回復の兆しが見えず、更にデフレ現象の進行が商工業を取り巻く環境を更に深刻なものにしていることから、新年度においても商工業者の資金繰りを支援することが必要と判断し、沼田町中小企業特別融資や公的制度融資に対するの利子補給並びに保証料補助、設備資金や運転資金の融資枠の拡大を引き続き実施していきます。

■移住・定住対策

◆経済の活性化

平成二十一年度移住・定住の促進と地域経済の活性化策として「経済活性化支援事業」を創設し、住宅のリフォーム工事を町内業者に促す事業を実施したところ、地元企業の営業努力もあり、総額七千五百万円を超える工事が確保され、多大な経済効果を生み出すとともに、住民の快適な居住環境づくりにも大きく寄与する結果となったところで。

今年度についても二カ年事業の二年目として、一千万円の事業費により引き続き実施していきます。

■記念事業

沼田町商工会が創立されて九十周年並びに法制化五十周年の節目を迎えることから、記念事業のメインとして、今、国の内外で大変な活躍をされておられます本町出身の寺島実郎氏によるふるさと記念講演会を計画し、その開催に要する関係予算を計上したところで。

JR留萌本線は、一九一〇年（明治四十三）年十一月二十三日に開通、今年で百年を迎えるため、この記念すべき年に沿線自治体二市三町による記念イベントを開催し、圏域を全道、全国にPRを行い、地域の活性化を図っていきます。

■移住・定住促進対策

移住・定住促進対策につきましては、小平・幌加内・沼田三町広域振興協議会において、昨年、東京都庁内の全国観光PRコーナーを利用して初開催した移住定住フェアと観光物産展は、相当なPR効果と三町の特産品の販売促進にもつながったことから、今年も八月上旬に一週間程度の期間で開催する予定で準備を進めているところであります。今後の移住・定住の促進につなげられるよう精力的に取り組んでいきます。



■企業誘致策

企業誘致については、中小企業基盤整備機構の支援をいただきながら積極的な訪問活動を展開しているところであり、本町産業に関連する食料品加工業等を中心に道内外一万社に対してアンケート調査を実施することとしています。

また、業績が好調で将来性のある企業に対する訪問活動も引き続き積極的に展開するとともに、活動にあつては、企業としてメリットのある提案を行えるよう庁内に組織した企業誘致推進本部において、種々議論を重ねながら進めいきます。

■賃貸住宅

本通四丁目にある旧日生技研(株)工場跡地の利用につきましましては、当該地に賃貸住宅(二棟八戸)を建設いただく方向で、旭川の民間企業と調整中です。

定住の促進や市街地の空き地解消等、町にとっても有益と判断し、「民間賃貸住宅建設促進事業」として、その事業費の一部となる千六百万円を補助することとし、予算の計上を行っています。

■ふるさと納税

今年で三年目となります。ふるさと納税制度につきましては、町の貴重な地域資源等を今後も適正に維持保存していくため、東京沼田会や札幌沼田会など地域にゆかりのある方々を通じて積極的にPRするほか、一般の方々に対してもあらゆる機会を通じて広く呼びかけ

を行ってまいりたいと考えています。

■観光の振興

観光の振興については、北海道三大あんどん祭りの一つに数えられる「夜高あんどん祭り」や「ほたるの里」など本町には、ほかには無い魅力や資源を数多く持ち合わせており、これらの更なる活用を図るとともに、全国へのPRについて、引き続き全力で取り組んでいきます。

■元氣な沼田を発信

本町の移住定住促進施策や町の魅力、ほたる館、農産加工場、自動車学校等に関する情報発信を「元氣な沼田発信事業」として、近隣や道内を対象に実施し、一定の成果を上げているところでもありますので、引き続き実施していきます。

一方、本町には独創的な事業など全国的に高い評価をいただける取組みが多々あるにも拘わらず、情報がうまく発信出来ない状況を踏まえ、そうした情報を全国のコミュニティFMを活用して発信するとともに、全国に四万七千五百世帯存在する「沼田」という苗字の方々に本町の情報発信員として協力を呼びかけるなど、新たな情報発信事業を実施し、全国での知名度を更に引き上げ、移住定住策など地域振興

に結びつけていきたいと考えています。

■沼田式雪山センター

沼田式雪山センターについては、運用開始より三年目を迎えるところですが、センターから搬出された雪は、農業生産や公共施設等の冷熱源、イベント等での利用のほか、昨年は漁業での活用も試される等、町内外においてその利用が広がっています。



このことから、更なる利用を高めることや新たな利用方策を検討するため、産学官の連携を視野に入れた雪を含めた新エネルギーの活用研究やソフトラ策の検討、過去からの実証実験について、更に踏み込んだ検証などを行いながら、雪中ブランドの実用化を図るとともに、各種データなどが町の知的財産として保存活用できるような対策について検討を進めていきます。



ふれあいや助け合いに満ちた

■保健事業

保健事業については、心身ともに健やかな生活が続けるためには何にもまして病気の予防と早期発見が重要となっており、平成二十年度から実施された特定健診・特定保健指導におけるきめ細かい対応により健康に対する意識は高まりを見せています。

本年度についても、特定健診の結果に基づき病気になるる生活習慣の改善に向けた保健師と管理栄養士が一体となった支援の強化と、未受診者に対する啓蒙活動の充実を図っていきます。

沼田町国民健康保険以外の被用者保険に加入されている町民の皆様にも特定健診・特定保健指導

地域づくり

並びにがん検診への受診奨励活動を実施していきます。

特に、女性特有のがん検診については、若年受診者の拡大に力を注いでいきます。

平成二十一年度において、住民の健康増進を図るための「沼田町健康増進計画」並びに健康の保持増進を図るための指標となる「食育推進基本計画」を多くの町民の皆様からアンケートにご協力をいただき策定しました。

本年は、計画策定の過程において取り組みの必要性が見出された歯科保健の基盤づくりに重点を置き、むし歯予防・歯周病予防の歯磨きなど口腔内の衛生について普及啓蒙を図っていきます。

■母子保健

母子保健については、

時代を担う子供たちが健康やかに生まれ育つ環境を整えるため、子育て対策として町単独費用で実施する妊娠期を含めた妊娠健康診査通院交通費助成、国費補助の標準とされる十四回の妊婦健康診査費用の助成を継続し、乳児期については、全戸家庭訪問による健康相談・指導を行い、幼児期におきましては定時期での健診やことばの発達検査を実施し、個々の発達に応じた支援体制をコーディネートしていきます。

これまで継続実施している管理栄養士による小学校での食育事業については、引き続き沼田町食生活改善協議会と連携し取り組んでいきます。

季節性インフルエンザへの対応として、感染時における肉体的、経済的負担を軽減するため、昨年からの対象者を全町民に拡大し実施しているワクチン接種費用の助成事業、小児への定期・任意予防接種助成事業、高齢者の死亡原因の多くを占める肺炎の予防対策としての肺炎球菌予防接種の継続に係る予算を計上していきます。

■高齢者支援

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるために除雪サービス事業や高齢者除雪費助成事業、豪雪等の雪害発生時の対策として、高齢者世帯等緊急対策事業、高齢者等世帯福祉灯油助成事業をはじめ、冬期間の通院を支援する高齢者ハイヤー利用助成事業や在宅介護を支援するための住環境整備費助成事業、また、火災に対する安全性を高めるための住宅用火災警報器設置事業を継続して実施してまいります。

新規事業として、今後とも増加が見込まれる高齢者世帯が、住み慣れた地域で、健康で安心して生活できる環境を充実するため、個別支援、定期報告、ケース検討などを実施する「高齢者世帯見守りサポート事業」を新たに実施することとしております。



町内唯一の医療機関である沼田厚生病院に対しては、引き続き、医師確保対策としての補助金の予算を計上しています。

沼田厚生病院については、運営赤字の全額補填で北海道厚生連と合意の上運営していますが、二十一年度決算見込みは一億六千九百万円前後の赤字との報告を受けています。十月には外科医師の常勤体制も整いましたが、入院患者数が一定数に止まり、大幅な赤字額の削減に至っておりません。今後も運営体制の効率化等による経営改善を強く要請し、併せて、受診につながる広報等にも取り組んでいきます。

■地域医療 (沼田厚生病院)

平成22年度 子育て支援策



子ども手当

「平成二十二年度における子ども手当の支給に関する法律」が可決成立した場合、中学校終了までの児童を対象に一人につき月額一万三千円を支給することとなります。

沼田町における対象者の実数は、およそ三百名で、支給総額は三千八百六十四万九千円が見込まれています。

支給時期は、年三回とされており、一回目の支給は六月と定められる予定であり、法案成立後は、速やかな給付に向け事務手続を進めていきます。

本年は、子育て支援としまして、保育料負担を軽減するために、沼田保育園に係る保育料を引き続き、国の基準の70%に減額し、その差額613万7千円を一般財源で負担し、また、沼田保育園における一時預かり事業においては、これまで対象外とされていた短期的な就労についても対象とする要件緩和分を含めた事業費145万5千円、併せて季節保育所に対する助成額220万円、小学校卒業までの医療費の無料化に係る助成額321万1千円に加え、本年度からは、対象を中学生まで拡大することとし、それに係る経費138万9千円を計上しています。

平成22年度 障がい者支援策

障がい者支援については、障がい者自立支援法に基づき、障がい者の居宅支援、施設入所支援、通所支援などに要する経費並びに障がい者の外出を容易にし、日常生活を支援する重度身体障がい者ハイヤー代助成事業、特定疾患に伴う通院費を助成する難病患者交通費助成を継続して実施していきます。

第48回北海道障がい者スポーツ大会が7月11日（日曜日）北空知1市4町を会場に開催され、8競技、1,600名の選手役員の参加が見込まれており、沼田町においては、フットベースボール競技が農村公園野球場で実施されます。



安心・安全な

地域づくり



■非核・平和の町宣言

一九六〇年の新日米安保条約の締結から五十年を迎える今日、世界が核兵器の廃絶に向けて大きく動きつつある中で、世界で唯一の核被爆国の国民として、核の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の意義を世界の人々に訴え、非核三原則の堅持と恒久平和を願い、安心で安全なまちづくりを進めるとを決意し、「非核・平和の町」宣言をすることとして提案しています。

■交通事故死亡ゼロ

本町においては、二月北海道における昨年の交通事故死者数は、二百十八人と、前年を十名下回り事故発生件数も対前年七・四％の減少となり、交通安全運動に係わる関係機関等の努力によって五年連続でワーストワンを返上することができました。

本町においては、三月一日現在で交通事故死亡ゼロ三千八百九十九日を達成し、目標とする四〇〇〇日の到達日が六月十日となっています。

沼田警察署、沼田町交通安全協会等の関係機関、団体と緊密な連携を図りながら交通安全への意識



が途切れることなく、悲惨な交通事故に会わない、起さないため、「沼田町民めざせ交通事故死ゼロのまち」を合言葉に、家庭・職場・学校で交通安全を話題とした声かけなどの交通安全運動を展開していきます。

沼田町就業支援センター

沼田町就業支援センターにつきましては、開設から３年目に入り、これまでに延べ15名の少年が入所しています。

今後とも後に続く少年に対しましても社会参加への支援に力を注いでまいりたいと考えています。

なお、地域の中で精力的に奉仕活動を実施していただいております「沼田明日萌の会」及び「沼田すずらんの会」に対して、その活動費の一部を引き続き助成する予算を計上しています。

住みやすい快適な環境と魅力ある街づくり

■ゴミ問題

ゴミ処理問題については、北空知振興圏協議会において北空知衛生施設組合、北空知衛生センター組合との統合について、深川市と検討してきました。その結果、深川市の所有する「不燃・粗大・資源ごみ」の中間処理・資源化施設「リサイクルセンター」を北空知衛生センター組合へ移管し、一市四町による共同利用についての協議が整ったところです。

今後の予定については、沼田町・北竜町・妹背牛町・秩父別町の四町において、リサイクルセンターのゴミ搬入ルールに合わせた分別収集が本年七月頃から試験運用され、平成二十三年四月からは一市四町での共同利用となりますので、町民の皆様をはじめ各行政区並びに自治振興協議会などと充分な協議により、分別収集方法を決定していきたいと考えています。

また、昨年から取り組んできました、株式会社エコバレー歌志内に替わる可燃ごみの処理につきましては、本年二月に沼田町を含めた北・中空知十四市町による中・北空知廃棄物処理広域連合が設立されました。新たな焼却処理施設の建設に向けた事業実施に係る広域連合への負担金の予算を計上しています。

高齢者等の足の確保を第一に、公共交通のあり方や効率的で利便性の高い公共交通の実現のため、国の支援をいただきながら「地域公共交通協議会」を組織し、検討を進めているところでありますが、二十一年度において、町内公共交通空白地域を対象にコミュニティバスの実証運行を行ったのに続き、二十二年度は予約運行型交通（デマ

ンド交通）方式による実証実験を行い、利用者の意見を伺いながら、今後の公共交通計画についての検討をしていきたいと考えています。

■建設事業

建設事業については、本年度事業と平成二十一年度補正予算である「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を合わせて、地域経済活性化や住民福祉の向上のために必要性が高い公共施設の維持補修事業等を中心に執行していきます。

■道路事業

道路事業については、国の補助事業として、東予地区の基幹道路であります町道東予中央線の改良舗装工事延長二百mと、スノークルライスファクトリーに接続する重要な農業

用道路であります町道原野北線改良舗装工事の三百八十m、また、臨時交付金事業として北竜第三地区の町道北竜二号線において、改良舗装五百四十mをそれぞれ実施予定をいいます。

■萌の丘整備

萌の丘の整備については、「二トリ北海道応援基金」から桜の木百九十本の提供を受け、植栽を計画しております。本年度三年目となり、予定された面積に約五百八十本の植栽が完了することとなります。

■道路維持事業

維持事業については、広範囲に錆びが発生し、傷みが進んでいるホタル街灯の塗装補修をこれまで数年にわたり実施してきましたが、本年度は残りの百十基全てについて補修することとしているほか、町道の草刈や除雪作業等の道路維持作業については、昨年に引き続き、民間業者に委託することとしています。

■道道

道道については、幌新・恵比島地区と市街を結ぶ恵比島旭町線が改良舗装、橋梁工事の実施予定であるほか、達布石狩沼田停車場線では、高台寺前の区間において歩道工事、沼田ダム付近で地すべり対策工事がそれぞれ実施予定であります。

■道道

河川事業については、更新地域の安全・安定した営農を目的に札幌土木現業所が継続して実施しておりますポンポンニタシベツ川砂防事業は、護岸工事等六百五十mが実施予定であります。また、鹿が頻繁に出没することにより地元から強い要請があった沼田奔川月見橋付近の立木の伐木も予定されています。



公園事業

公園事業については、パークゴルフ場の利用者等に対し、食事の提供が出来るようクラブハウス内に厨房を設置するほか、コース表示板の補修等を実施することとしています。

ディスプレイ

また、衛生的な台所、生ゴミの減量化を目的にディスプレイの普及を進め、平成十九年から二十一年まで奨励事業を実施してきましたが、現在設置数が目標の二十六％（百三十件）と普及が進まない状況です。更に普及を促進するため、奨励事業を継続するほか、営住宅には昨年に引き続き、スコレビレッジを中心に三十基の設置を予定しています。



二十二年に生かす

人づくり

教育施設の再編

開校後六十一年の歴史と七〇〇名を超える卒業生を送り出した、伝統ある沼田高校も今春残念ながら閉校を迎えることとなりましたが、これまでの歴史を支えて下さった大勢の皆様には心から感謝とお礼を申し上げる次第です。

沼田高校の閉校に合わせ議論を進めてきました教育施設の再編については、中学校は高校校舎を活用することとし、小学校は現在の校舎を解体し、その場所に新築することとして、それぞれ準備を進めているところであります。また、幼稚園については耐震化調査を実施中であり、その結果を踏ま

えた上で内部改修等を検討することとしています。沼田町の将来を担う子供達は、かけがえのない大事な宝です。より良い教育環境を出来るだけ早期に提供出来る様、今後議会や教育委員会、町民の皆様等から種々ご意見を賜りながら鋭意取り進めていきます。



姉妹都市のカナダ・ブリティッシュコロンビア州ポートハーディ地区との交流につきましては、平成六年九月に姉妹都市として調印してから、相互に訪問、受け入れ事業での交流が行われてきており、今年度は、当方からポートハーディ地区への訪問が予定されていることから、その所要額を計上しております。

また、小矢部市との交流につきましては、中学生を対象にした青少年交流事業を引き続き行うこととしています。

今、時代は大きな変革の時を迎えております。鳩山内閣が「1丁目1番地」に掲げる地域主権改革は、明治以来の中央集権体制から脱却し、この国の在り方を大きく転換しようとするものであります。

地方自治体にとつては地域の実情に添ったより柔軟な政策が展開出来る一方、経営責任も増すこととなるため、より高度な行政能力、透明性の高い将来を見据えた健全な財政運営が今以上に求められることになるものと思われまふ。

過疎と少子高齢化がなおも進行し、町行政に対する住民ニーズも多様化する中で、行財政運営は今後更に難しさを増して行くものと予想されますが、そうした中において我が町が将来に亘って持

続的な発展を果たすためには、近隣市町との連携や行財政改革の一層の推進とともに、地域住民がともに支えあう優しさ溢れる地域社会の確立、行政と住民、地域、そして町内の関係機関、団体等による「協働のまちづくり」が必要不可欠であります。



沼田の新たな発展に向け、全力で努力していきます

平成二十二年度の予算編成にあたっては、前述したとおり、目指すべき方向を「人口四〇〇〇人復活を目指して」と設定しました。人口の増加は、単に人々を呼び込もうとするだけではなく、人々に安心や希望、生きがい等を感じながら、「ここに住み続けたい」とあるいは、「そこに住んでみよう」と言う気持ちを持つていただかなくては成し得ないものです。本年度の予算は、そのことを今まで以上に意識し、「四〇〇〇人復活」の実現を職員共々強く念頭に置きながら、これまでの施策を継続・拡大し、また、新たな取組みを加えるなどして、有機的につながったきめの細かい各種施策を幾重にも積み重ねたものであります。

山積する課題に対し解決手法が思うように見出せない閉塞感さえ漂う時代の中で、こうした新たなまちづくりを進めるためには、住民の目線に立ちながら、従来型の考え方ではなく、常識外れとも思われる様な大胆な発想と常に一歩前に踏み出すという果敢な姿勢が必要と考えています。

まちづくりの最前線に立つべき職員にもそうした姿勢を求めつつ、ともに研鑽を積みながら、ふるさと沼田の新たな発展に向け全力で努力していきます。

新たな時代のスタート!未来のこどもたちを考える

教 育

執行方針2010

本町の教育行政の推進につ
きましては、教育基本法を
踏まえ、本町の恵まれた自
然や歴史・文化等の教育資
源を十分に活用しながら
「沼田町総合振興計画」に
沿って地域との連携を図り
ながら、「沼田町生涯教育
目標」に基づく様々な事業
を展開してまいりました。
本年度につきましては、い
よいよ小中学校の整備・再
編事業がスタート致しま
す。教育委員会としても、
新たな時代のスタートと受
け止め、沼田町教育計画
の見直しと、幼小中の一貫
教育を推進させ「目指すべ
き沼田町の子どもの姿」を
具現化してまいりたいと考
えます。



教育長 松田 剛

平成22年度園児児童生徒在籍数一覧表（H22.4.1現在）



沼田幼稚園	男	女	計
(6歳児)	17	13	30

沼田小学校	男	女	計
1年生	9	13	22
2年生	9	14	23
3年生	12	16	28
4年生	13	16	29
5年生	18	11	29
6年生	7	9	16
特別支援学級(内数)	(5)	(1)	(6)
合 計	68	79	147

沼田中学校	男	女	計
1年生	16	15	31
2年生	13	13	26
3年生	15	9	24
特別支援学級(内数)	(3)	(1)	(4)
合 計	44	37	81



学校教育

沼田町の全ての子どもたちが、生き生きと生活してくために、次のことを推進していきます。

1. あいさつ運動の励行

あいさつは、生活の基本であり、社会生活において必ず身に付けなければいけない習慣です。家庭で、学校で、地域で、子どもから大人まで、心から気持ちが伝わるあいさつを交わすことが、元気なまちづくりにつながります。

1. 食育（朝食を必ず食べる習慣）

小学生から中学生になるにつれて、朝食を食べない子どもが増える傾向にあります。「早寝、早起き、朝ごはん」と言われるように、基本的な生活習慣を身につけなければ、体や脳の発達に支障をきたし学力の低下にも繋がりますので健全な心身が培われるよう、食育の推進に努めます。

1. 読書の習慣

大人も子ども、インターネット等の普及により本を読む機会が減り、活字離れが進んでいます。学校における全ての教科は、文章を読み解く力が基本となります。多くの本を読むことで、自然と読解力が身に付き、想像力が沸いてきます。

■ 幼稚園

【目標】「友達と生き生きと活動し、育ちあう子」を教育目標に、「健康で明るく仲良く遊び、美しい心で力いっぱいがんばる子」を重点に保育活動を実践してまいります。

学校施設の充実

新年度は「学校教育の充実」をキーワードとして捉え、「登校することが楽しい学校」、「子ども一人ひとりと正面から向き合い、学び、遊び、語りあえる学校」を目指し、教職員・保護者・地域との連携を強めた学校教育に取り組んでまいります。

■ 小学校

【目標】児童一人ひとりに自覚と誇りを「生きる力」を育むため、自ら考える力と思いやりの心など、豊かな心の育成を図り、基本的な学習内容の定着と、個性を尊重した教育を目指します。

沼田っ子支援

子どもたちを地域で守ろうと、平成17年度より活動を始めた「沼田っ子サポーター」もすっかり定着し、子どもたちの登下校の時間に合わせて毎日、学校や地域の方々と連携しながら、安全パトロールとあいさつ運動を展開していただいております。

■ 学童保育

昨年度から要望に応え、月に1回土曜日も開所し、更に本年度から特別に支援の必要な児童についても、希望があればお預かりします。また、すべての児童の放課後の居場所づくりとして「放課後子ども教室」の設置も検討していきます。

学校施設の整備

学校施設の整備状況は、幼稚園は耐震2次診断の判定結果により今後の工事について判断します。新しい小学校建設にあたっては「小学校検討委員会」を設け、設計内容についてご意見をいただくこととなっています。中学校は、今春より北海道教育委員会が沼田高校の改修工事を行い、来年春の入学式から登校ができるよう準備を進めています。

■ 中学校

【目標】「心身たくましく、知性を高める、情操豊かに」を目標に、生徒に基礎・基本的な知識や技能を確実に習得させ、主体的に学習に取り組む態度と個性を活かす教育を推進します。

特別支援教育

教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒に対し各関係機関が連携し、児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な指導体制を整えていきます。

■ 幼・小・中一貫、連携教育

幼稚園から中学校までの10年間を一体の教育課程として捉え、各過程への移行が適切に進むように、新学習指導要領を見据え、全ての教職員が連携・協力して子ども達の指導にあたるよう努力してまいります。



社会教育

社会教育は、子どもから高齢者まで全ての方々が、学べる機会を提供することにあります。

■家庭教育事業の充実

未就学児（１歳～４歳児）を対象とした親子の事業について、教育委員会のみならず、住民生活課や地域子育て支援センター等とも連携会議を開き、親の側も提供する側も、お互いより良い事業となるよう進めていきます。更に、昨年より進めておりました、町の新しいホームページに「子育て情報コーナー」を盛り込み、総合的で分かりやすい事業を展開していきます。



■学校支援地域本部事業の充実と地域人材育成

平成２０年より学校支援地域教育協議会を発足し、学校支援ボランティアの活動を図っているところですが、今年度も、沼田っ子サポーターはもとより、学校の授業や部活動支援、環境活動においても、町民の方々のボランティアの参加や協力を図っていきます。さらに、まちづくりへの協働・参画を図るため、地域に潜在する人材を積極的に発掘・育成し、本町の生涯学習リーダーとして活用しながら、社会教育によるまちづくりを推進していきます。み、総合的で分かりやすい事業を展開していきます。

■炭鉱の歴史と文化財保存

かつて沼田町が「炭鉱の町」として栄えていた時代、留萌鉄道をクラス１５号が走り、浅野・昭和地区は繁栄を極めていました。本年度「ふるさと資料館」に保管しています沼田町文化財クラス１５号を、かつて鉄道が走っていた幌新温泉の一面に保管場所を移し、町内外の多くの方々に見ていただけるようにします。さらに、現在のほたる学習館の中に「沼田町炭鉱資料展示コーナー」を設け、炭鉱の資料やパネル等を展示し、かつては幌新地区の北に炭鉱の町があったことを、訪れた多くの方々に紹介し、沼田町の石炭の歴史と文化について、いつまでも語り継がれるように幌新温泉に保存します。

■ゆめつくるの利用促進

「ゆめつくる」におけるサークル活動としては、一般成人（特に男性）の利用が少ないのが現状です。今後、多くの方々にご利用して頂くために「趣味の講座」等を通じてＰＲを行い、個々の生きがいづくりや学習と交流の場として長く利用いただけるよう努力していきます。

■図書館の活性化

図書館活動については、小さな時から親子で本を身近に感じていただくために、家庭教育事業と連携して、乳幼児健診やマタニティー教室、地域子育て支援センター事業をとおして、「本の読み聞かせ」や「その子の発達に合った本の紹介」等を推進していきたいと思ひます。また、移動図書として、厚生病院や老人ホームに本を設置させて頂いたり、お年寄りへの「読み聞かせ」にも出向きたい考えております。更に本年度は、例年１２月に開催されます「図書館フェスティバル」と「ぬまた女性フェスタ」の事業を融合させ、より多くの方々が楽しめるよう企画したいと思ひます。今後も、図書館が町民の方々の身近な存在であり、知識と豊かな人間形成の窓口となるよう努力していきます。

■化石体験館・レプリカ工房と化石事業

沼田町太古の歴史を伝える化石体験館は、隣接する「ほたる館」とも連携し、開館時間や温泉との割引料金などを設定し、入館者の増加を図ってまいりました。本年度は、屋根の塗装工事に合わせて、観光客や宿泊客にも化石体験館と一目で分かるよう屋根に「化石体験館」の文字を施す予定です。



社会体育

昭和60年6月20日に「沼田町スポーツの町宣言」が制定され、今年で25年目を迎えました。

■ 体育振興事業の充実

体育振興事業は、町民誰もが気軽に楽しくできる健康運動（レクリエーション等）と、競技性を持ったスポーツの両面から事業を推進していきます。

■ 総合型地域スポーツクラブの設立



本年3月23日（火）に、沼田町体育協会や各種スポーツ団体のご理解とご協力のもと、「総合型地域スポーツクラブ」が設立する運びとなりました。

このクラブは、いつでも、どこでも、だれでも気楽に様々なスポーツが楽しめるよう、スポーツを「健康」「交流」「多世代」「多趣味」などの観点から捉えており、誰もが気軽に楽しくスポーツに参加できることを目的としています。今後は、教育委員会としても多くの町民の方々にクラブを認知していただき、スポーツを身近に感じてもらうよう、体育指導委員も含め活動支援に努めていきます。

■ 明日萌の里・ほたるの里ウォーキングの充実

本年の「明日萌・ほたるの里ウォーキング」につきましては、ほたる館で開催される「紅葉まつり」とも同日開催で10月3日（日）に開催決定しました。北海道ウォーキング協会にも道内のイベントの一つとして取り上げていただきます。

■ 子どもの体力向上

今沼田町の子どもたちは、少子化によってスポーツ少年団や部活動の種目減少により、スポーツをしない子が増加している傾向にあります。一昨年から「総合型スポーツクラブ」において、子どもスポーツ塾「沼田っ子元気スポーツクラブ」が開かれ、普段体を動かすことが少なかった子どもたちが多く参加しています。幼少年期からスポーツに親しむ機会をつくり、健やかな子どもたちの育成と体力の向上に努めていきます。

■ 町民体育館・柔剣道場

町民体育館は築38年が経過いたしました。町内唯一の屋内スポーツ施設としてご利用いただいております。定例開催のナイターミニバレー大会は、小さな子どもを連れながら参加する若い主婦が増えておりますので、ステージに特設の保育スペースを設けることとしました。なお、町民体育館の開館時間につきましては、午前中の利用者が殆どいないことも考え、試行的に平日の開館時間は午後からとさせていただくことになりました。

今後とも子どもから大人まで、安全な環境の中で、安心して学習が出来るよう、地域・家庭・学校・行政が一体となって、沼田町の教育振興に取り組んでいきます。



平成22年度 一般会計予算総額

38億円

対前年度当初比と同額の予算です。

これに21年度繰越明許分を合わせた額を22年度執行予算として調整

歳入

地方交付税
(55.4%) 21億393万円

国に納められた一部の税金から全国の市町村の規模に応じ一定の割合で、地方公共団体が等しく事務を遂行できるよう、国から町へ配分される税

国・道支出金
(8.9%) 3億3,759万円

町が行う事業のうち、国・道が公益性を認め、その事業を実施するために国から町に交付されるお金

町債 2億6,760万円
(7.0%) 建設工事など大きな事業の実施に伴う借入金

地方譲与税及び交付金
(3.4%) 1億2,875万円

町税 3億1,737万円
(8.4%) 町税・固定資産税など

その他収入 2億6,102万円
(6.8%) 財産収入・寄付金など

諸収入 1億9,129万円
(5.0%) 貸付金元利収入など

使用料及び手数料 1億189万円
(2.7%) 公営住宅使用料・ゴミ処理手数料など

繰入金 9,053万円
(2.4%) 事業を行うための基金の取り崩し(左ページ参照)

国の2次補正予算とのリンク

国の2次補正予算(「地域活性化・きめ細やかな臨時交付金」)に絡む町事業については、地元の中小企業・零細事業者の受注に質する小規模なインフラ整備をメインとし、その全額を22年度へ繰越明許の措置をとることから、両予算を22年度「執行予算」として位置づけ、事業の調整を図りました。

その他沼田町地域情報通信基盤整備事業(光ファイバー)など21年度に支出が終わらなかった事業については、22年度へ繰越することとしました。



前年度と比較…同額の予算額

平成21年度予算に比較して平成22年度予算は前年度当初予算と同額となっています。これは、21年度スノークールライスファクトリー下屋増設事業1億299万円の完了と22年度の小学校・中学校施設整備事業1億150万円が大きく影響しています。

ただし、国の2次補正を加えた執行予算としての比較では3億318万円の増額となっています。

- ◆地方譲与税6,000万円 ◆利子割交付金100万円
- ◆配当割交付金20万円 ◆株式等譲渡所得割交付金10万円
- ◆地方消費税交付金3,500万円 ◆ゴルフ場利用税交付金200万円
- ◆自動車取得税交付金1,200万円 ◆地方特例交付金245万円
- ◆交通安全対策特別交付金100万円
- ◆国有提供施設等所在市町村助成交付金1,500万円

特別会計予算

18億2,893万円

会 計 名	当初予算額	増減率
養護老人ホーム特別会計	2億1,528万円	0.1%
特別養護老人ホーム特別会計	3億5,954万円	2.7%
国民健康保険特別会計	5億2,112万円	▲2.1%
介護保険特別会計	3億2,797万円	0.2%
老人保健特別会計	11万円	▲79.0%
後期高齢者医療特別会計	4,917万円	10.0%
公共下水道特別会計	3億5,571万円	▲4.9%

一般会計は実質単年度収支で黒字決算を続けており、財政指標も水準的には健全な姿で推移しています。これも早くから事務事業の見直しを実施し、さらに無駄を排除した予算編成を行ってきた効果であると言えます。

しかし、公債残高は22年度末見込みで43億円となり18年度ピークから確実に減少させてはいるものの、単年度元利償還額は当分の間6億円台で推移することから、公債費負担が財政を圧迫している現実是否めないところです。また、歳入面においては交付税を主体とする経常一般財源は平成12年度の31億円をピークに20年度決算では25億円まで減少し、結果財政硬直に陥らないよう財政運営を行う必要があります。

平成22年度予算は、

人口4,000人復活をめざして

決め細やかな施策を重点的に措置しました！

充実した移住定住対策

一環した子育て支援

地域の元気回復

基金残高の推移見込み（一般会計所管分）

単位：千円

（3）基金残高の推移見込み（一般会計所管分）

基 金 の 区 分		21年度末 現 在 高 (見 込)	平成22年度中の増減			22年度末 現 在 高 (見 込)
			利子積立	新規積立	取 崩	
財政調整基金		316,319	169			316,488
減債基金		643,189	2,107	22,847		668,143
特 定 目 的 基 金	振興基金	543,191	1,575	6,000	22,847	527,919
	自動車学校基金	458	2			460
	ふるさとづくり基金	8,811	27	1,000		9,838
	社会福祉基金	99,972	298	1	10,831	89,440
	農業振興基金	76,455	275	20,000	6,132	90,598
	農地流動化基金	49,476	146		16,561	33,061
	商工観光振興基金	34,906	105	1	19,930	15,082
	企業等誘致推進基金	63,576	191		1,225	62,542
	移住定住促進基金	15,246	54		6,300	9,000
	みどりの景観等保全基金	13,570	41		487	13,124
	スコール基金	36,202	109	1	6,218	30,094
	青少年スポーツ文化振興基金	994	4	1		999
特定目的基金合計		1,243,830	3,728	27,005	90,531	1,184,032
定額 奨学資金貸付基金		6,035	19	100		6,154
定額運用基金合計		6,035	19	100		6,154
基 金 総 合 計		2,209,373	6,023	49,952	90,531	2,174,817

注）21年度末現在高見込みは、決算の状況により移動が生じます。

今後とも、一般財源の増加が見込めない状況にあり、更なる歳出削減の努力が必要です。

特に中長期的な期間でコントロール可能な公債費を抑制し、現状の歳入で持続可能な歳出規模とする「安定的持続可能な財政基盤の確立」が最重要課題となっています。

歳出

公債費 6億9,087万円

町債を返済する経費

職員費 6億4,880万円

職員の給与など支払う経費

農林水産事業費

4億8,775万円

農業の振興に要する経費、
生産基盤の整備などに要する経費

民生費 4億8,051万円

障がい者や高齢者に対する福祉の充実、
保育園運営などの経費

土木費 3億3,257万円

道路維持改修、除排雪、公営住宅や
パークゴルフ場などに係る経費

総務費 3億1,166万円

町の内部管理・税務・戸籍・選挙・
統計などに要する経費

教育費 2億7,651万円

小中学校の教育の充実、文化・スポ
ーツの振興などに要する経費

衛生費 2億621万円

生活環境の保全、ゴミ処理などに係
る経費

消防費 1億7,520万円

火災の予防・消火や急病人の救助など
の経費

商工費 9,145万円

中小企業の振興及び夜高あんどん祭り
など観光の振興などに要する経費

その他 9,849万円

議会費3,698万円 諸支出金 5,691万円
労働費 309万円 災害復旧費 51万円
予備費 100万円

今年の

概要版

まちのしごと

平成22年度のまちのお金の使い方を紹介します。先に説明しました町の予算が実際どのように事業に反映されるか、主な事業を中心として簡略に説明します。

※もっと詳しく知りたい方はお気軽に各担当課へお問い合わせください。

農業



農業経営の安定化を支援します。

新規

新規就農対策専門チームを設置

農業経営主の高齢化、後継者不足にある中、持続的農業の発展」を目指すため、新規就農対策の支援策等の検討を実施します。

新規

経営体育成基盤整備事業の
受益者負担軽減を3,586
万円

圃場区画の大型化による農業機械の効率化や農地の保全などを目的とした道営経営体育成基盤整備がスタートします。この事業に係る受益者負担を軽減して安定的な農業経営を支援します。

事業実施期間 平成22年度から6年間

- 農業総合対策事業
(新時代農業経営高度化支援事業) 150万円
- 農業総合対策事業
(土づくり推進支援事業) 199万円
- 農地・水・環境保全向上対策事業 2,700万円
- 中山間地域等直接支払交付金事業 1億684万円

トピックス

★農業	p20	★教育	p26
★商工業・観光	p21	★交通	p26
★移住・定住	p22	★整備	p27
★環境	p22	★雇用	p27
★健康福祉	p23	★まちづくり	p27
		★新エネ	p27

新規

利子補給により農業者を
支援104
万円

昨年の長雨、日照不足の影響から被害を受け、農業経営の維持に必要とされる融資を受けた農業者の負担軽減を図るため5年間、利子補給を実施し農業経営の安定化を支援します。

継続

農地集積化を図り
農業経営の安定化を1,656
万円

農業経営主の高齢化等から農地の流動が予測されることから農地の集積を図り耕作放棄地の防止と農地の受け手農業者の負担軽減を図り農業経営の安定化を支援します。

■ディスポーザー設置助成事業 375万円
・助成額 25,000円

事業実施期間 平成22年度～24年度

継続

エゾシカ駆除対策
への取り組み87
万円

鹿による農産物被害を最小限に防ぐため、駆除又は処理に要する経費を支援します。



商工業

地元経済への支援をし、商店街の活性化を図ります！

継続

■中小企業特別融資にかかる預託金を増額

3,750万円

町制度融資資金の貸付枠を従来の1億円から1億5,000万円に拡大しました。

継続

■中小企業特別融資利子及び保証料補助金

375万円

貸付枠の拡大に伴って、利子、保証料の補助金も見合いの額に拡大しました。

継続

■中小企業緊急対策融資利子補給補助金

700万円

日本政策金融公庫等の公的制度融資資金に対して1.0%の利子補給を行い商工業者への支援をします。

地域開発課

継続

新たなまちおこしへ助成

100万円

本町の地域や産業の活性化をめざして町民等が取り組む「まちおこし事業」や新たな独創的・個性的な取組みを誘発するた補助金を交付します。



地域開発課

継続

町に企業を！誘致作戦！

469万円

道内外企業10,000件に企業誘致のためのアンケート調査や継続的な企業訪問を実施し、企業誘致の促進を図ります。



地域開発課

継続【サンセット2年目／2年】

住宅リフォームを手助け

1,000万円

★詳細情報 4/8発行 お知らせ版832号参照

地域経済対策の一環として、個人住宅のリフォーム工事に助成することにより、地元経済力の底上げを図ります。



地域開発課

継続【サンセット4年目／4年】

ふるさとクーポン券発行！

705万円

平成19年度から21年度までのサンセット事業でしたが、1年延長し引き続き町内消費の活性化を図るため実施します。

助成 20%



地域開発課

継続【サンセット4年目／4年】

魅力ある商店街づくりの促進

200万円

新規商店店舗・中古住宅を購入して、新たに商業活動を行うものに対し費用の一部を助成します。



地域開発課

商工業



- 明日萌の里ほたるの里歩くスキー 50万円
- 明日萌の里フォトコンテスト事業 45万円
- 夜高あんどん継承事業 657万円
- 夜高あんどんお祭り広場開設 40万円
- 観光PR事業 250万円

他市町にはない独自性を持った発信力を強化します！

移住
定住

新規 全国の沼田さん あなたが北海道沼田町の情報発信！

本町の過疎化に歯止めをかける移住定住策や沼田町の魅力及び全国的にも手厚い各種子育て支援策などの情報を道内は基より、全国に在住する沼田さんに対してコミュニティFM等を通じて発信し、沼田町のファンを増やすことにより沼田町を全国に強烈にPR活動を展開します。

記念
事業

留萌本線100年記念事業

50万円

商工会法制化50周年記念事業

50万円



継続

北海道沼田町で
社長になりませんか？

100
万円

沼田に移住して1年以内に法人登記をする起業家に対して、1件100万円を限度として助成します。



地域開発課

新規

賃貸住宅建設事業者へ
助成

1,600
万円

沼田町の移住定住をより一層促すために町内に賃貸住宅を建設する事業者に対して助成し、人口の増加と住環境の向上や中心市街地の空き地の解消を図ります。



地域開発課

継続【サンセット4年目／4年】

住宅購入に際して助成！

630
万円

- ◆住宅新築50万円
- ◆土地購入30万円
- ◆町内業者利用70万円
- ◆融雪溝沿線150万円
- ◆中古住宅購入30万円（町外からの移住）



地域開発課

環境

雪対策の充実

5,469
万円

- 町道の除排雪（全面委託）
- 融雪溝の管理経費
- 融雪溝管理運営協議会交付金



建設課

公営住宅の住環境整備

890
万円

- 緑町公営住宅屋根塗装（昭和56年建設 2棟/4棟）
- 旭町公営住宅玄関手すり修繕
- ディスプレイ設置
- ※23年度まで75戸設置
- 火災報知器設置



建設課・住民生活課

消防・救急の充実

1億
822万円

■消防組合沼田支署分
経費（負担金）

新規

■消防防災車両（大型
水槽車）導入経費（負
担金）



継続

火災警報器を設置

212
万円

高齢者世帯及び身体障
害者世帯に対し、火災
警報器を給付していま
す。



保健福祉課

ごみ・し尿対策

5,212
万円

■ごみ処理に要する経費
（組合負担金）
4,188万円

■し尿処理に要する経費
（組合負担金）
1,024万円



継続

ディスポーザーの 設置に助成

50
万円

生ごみを処理するため、
衛生的で快適なキッチ
ンライフを送れるよう、
ディスポーザー設置に
際し助成します。
助成額25,000円／1件



建設課

健康
福祉

安心と信頼の地域医療の確保

沼田厚生病院を支援

700
万円

継続

■運営費補助
（医師確保対策）

700万円



保健福祉課

継続

インフルエンザ予防接種

646
万円

1歳以上の全ての町民
が公費負担で接種を受
けられるようになりました。

■16歳～69歳
1回接種

1,000円個人負担
※上記以外の年齢は全額
公費負担



保健福祉課

充実したがん検診などの 受診体制

913
万円

継続

がん総合健診、女性の1
日総合健診やふれあい総
合健診、子宮・乳がん検
診、エキノコックス検査
など実施します。



保健福祉課

継続

68歳以上の方は、 肺炎球菌予防接種を！

50
万円

死亡原因の上位にある肺
炎、その多くを占める肺
炎球菌を予防します。

一人1回限度

■対象者 67歳以上

■自己負担 2,000円

（総額8,000円）



保健福祉課

※もっと詳しく知りたい方はお気軽に各担当課へお問い合わせください。

地域福祉の充実

健康
福祉

安心して在宅で
介護サービスを！

継続

132
万円

要介護度3から5までの方で居宅サービスを毎月1種類以上利用した場合、月額5,000円が支給されます。

新規

充実した訪問看護に！

220
万円

専門病院など、どこの医療機関をかりつけにしている、自宅に必要な医療処置を受けることができるよう訪問看護事業所を設置し、「この町で暮らし続けたい」という住民ニーズに対応していくこととします。



保健福祉課

継続

在宅サービスの充実

558
万円

社会福祉協議会・町内業者へ委託し、除雪のサービスや軽易作業、医療機関への通院に際するハイヤー代金の助成など在宅福祉の向上を図ります。



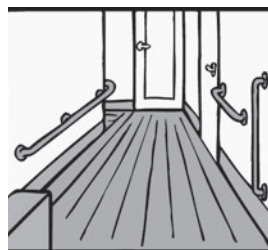
保健福祉課

継続

住みやすい住宅改修に
助成

160
万円

介護を必要とする高齢者や身体障がい者が、暮らしやすくするための住宅改修工事を行う場合に事業費の2分の1以内80万円を限度として助成します。



保健福祉課

障がい者や難病患者に助成

保健福祉課

- 重度身体障がい者ハイヤー代助成事業 43万円
- 難病患者通院交通費助成事業 37万円
- 在宅障がい者等施設通所補助 20万円

明るく活力ある高齢者社会づくり

健康
福祉

新規 地域で支援する「高齢者世帯見守りサポート事業（はあとふるぬまた）の創設

子どもたちから高齢者まで、町民・事業所・行政が協働の概念を持ち、お互いに役割を分担しながら地域全体で見守る体制づくりとして「見守りパートナー制度」を実施します。

本制度は、「小地域ネットワーク活動」の充実を図るとともに、新たに「認知症サポーター活動」を加え、見守り活動の連携を強めることで安心して住みやすいまちづくりを目指すものです。

継続

冬期間通院のための
ハイヤーチケットを交付

47
万円

65歳以上の高齢者で、冬期間（12月～3月）町内病院への通院が困難となる方に16枚（月4枚）のハイヤーチケットを交付します。



保健福祉課

継続

福祉灯油の助成

148
万円

高齢者世帯等に暖房用灯油代の一部を助成し、在宅福祉の向上を図っています。
灯油代の支給額は毎月の実勢単価で支給。



保健福祉課

除雪に対する助成

83
万円

除雪事業者(業者)へ支払った額の1/2の額20,000円を限度に助成。

- ①70歳以上の独居世帯
- ②世帯主が70歳以上、同居親族が65歳以上で構成の世帯



保健福祉課

豪雪等の万が一に備えて

100
万円

豪雪等特別に緊急性のある場合に備えて、沼田町建設業協会と雪害協定を結んでおり、即時対応ができる体制になっています。



住民生活課

健康
福祉

子育て日本一をめざして

拡充 中学生まで医療費が無料！ 187万円

沼田町では道が行う乳幼児及び小学生の医療費助成と町単独の助成を合わせて小学生以下の医療費を無料化しています。

この制度を更に拡充し、保護者の子育てに係る費用負担を軽減するため、中学生の医療費を全額助成します。

拡充 保育園の一時預かりの要件拡充！ 146万円

★詳細情報 4/8発行 お知らせ版832号参照

沼田町では一時預かり事業を現在すでに事業実施していますが、利用条件は保護者の疾病・災害・一時的な保育困難(精神的、肉体的)が基準となっています。

今後は多様化する就労形態に合わせ、短期的な就労を行う保護者に対し、限定的に一時預かりの利用基準要件を拡充し、地域において安定した子育て環境の整備を行い児童福祉の向上を図ります。

継続

沼田保育園保育料の軽減

614
万円

町では、子育て支援対策として、沼田保育園保育料を、国基準の保育料に対して70%水準まで引き下げ、軽減助成を行なっています。



保健福祉課

歯を大切に！ 口から始める健康づくり

沼田町国保1人当り歯科医療費全道4位、空知管内1位(H19調)という結果でした。町では、平成21年度策定した「健康増進計画」による、乳幼児の「虫歯予防対策」と若年層から始める成人の「歯周病予防」を実施します。

①乳幼児の虫歯予防対策

- ・フッ素塗布を地元歯科医院で無料受診できる体制を取りました。
- ・保育園・幼稚園と連携した一体的な取組

②成人(若年層)の歯周病予防対策

希望のある事業者等へ地元歯科医が出向き、「丁寧な歯磨きの習慣化」の普及啓蒙に努めていきます。

継続

母子の健康づくり①

247
万円

- 乳児健診
- 1歳6カ月・3歳児健診
- フッ素塗布
- 歯科健診
- すくすく教室
- ことばの教室
- 幼児・学童の食育



保健福祉課

継続

母子の健康づくり② 妊婦さんの方を手助け！

370
万円

■妊婦一般健康診査全額

公費助成

→全14回分の全費用を公費負担します。

■交通費助成

→H19より交通費定額助成



保健福祉課

※もっと詳しく知りたい方はお気軽に各担当課へお問い合わせください。

子どもたちの未来のために、充実した教育を目指します

教育

新規 誰でも気軽にエンジョイ、スポーツ！沼田町総合型スポーツクラブが誕生！

子どもから高齢者まで、気軽にみんなで運動できる場が誕生します。競技スポーツと違い、体を動かしたい方、ストレス発散したい方などどなたでも入会できます。

新規

沼田中学校が現沼田高校校舎へ移転します。

3650
万円

現中学校校舎の老朽化が激しいため、校舎を閉校となった沼田高校校舎へ移転し、その際の校舎やグラウンドの一部を改修します。



教育委員会

新規

沼田小学校の基本・実施設計へ

6,500
万円

現小学校場所に新たな校舎を新築するにあたり、本年は基本・実施設計等の業務を着手します。
(新校舎は平成25年春に完成予定)



教育委員会

ポートハーディへ行き ます

362
万円

姉妹都市であるカナダ・ポートハーディ地区へ、7月中旬から訪問します。



総務課

★化石発掘場地質調査

250万円

子どもたちの教育を サポート

586
万円

- 幼稚園特別支援教育支援員を配置【新規】
- 沼田小学校学力向上補助教諭を配置【継続】
- 外国語指導助手を委託【継続】



教育委員会

公共交通の利便性向上へ

交通

これからの地域の 公共交通を考える！

297
万円

市街と交通空白地域を結ぶ予約運行型交通（デマンド交通）の試験運行を行うとともに、地域公共交通の活性化に向け総合的に検討を進めます。



建設課

町営バス運行に 要する経費

1,138
万円

- 町営バス運行費
- バス停留所整備

建設課

子供たちの通学対策

1,435
万円

- スクールバス運行経費
- 通学費の助成

建設課

整備

環境・基盤整備



町道の維持に要する経費

7,763万円

公園維持管理に要する経費

1,625万円

街路灯維持に要する経費

875万円

インフラ整備

光ファイバーが
我が町に！

4億
1,000万円

町内主要幹線に光ファイバー回線を敷設し、超高速ブロードバンドの提供と町内における地デジ難視聴地域の解消を図ります。



総務課

萌の丘に桜を植栽

311
万円

萌の丘を引き続き整備するとともに、今年もサクラ（株）ニトリから苗木を助成）を植栽します。

苗木190本



建設課

町道の新設改良に要する
経費

6,005
万円

【補助事業】

■町道東予中央線凍雪害防止事業

事業年度21～24年度
L=1,126m W=5.5m

【単独事業】

■町道北仲小路線側溝改修工事
L=480m



建設課

雇用

継続 雇用促進助成事業補助金

200万円

地域開発課
総務課

新たに求職者を1年以上継続して雇い入れた事業主に対して、1人20万円の助成。

継続 緊急雇用創出事業

109万円

地域開発課

厳しい雇用情勢を鑑み、非正規労働者及び中高年の失業者に対して、次の雇用までの就業機会を創出します。

継続 自治振興協議会へ活動支援

164万円

総務課

町民、団体、行政等がそれぞれの役割を分担し合い、一体となってまちづくりを推進できる体制の整備や、主体的にまちづくりに取り組む町民の育成など住民活動の継続支援します。

新規 町の指針となる総合計画策定へ

380万円

地域開発課

自治体のすべての基本となる計画であり、町の様々な分野にわたる事業を一つの方向性のもと、計画的に推進するため、時代の潮流や本町を取り巻く情勢を十分に踏まえながら、持続可能な地域モデルを作る道筋を示すため、平成23年度より開始される新総合計画を策定いたします。

新規 雪エネ・新エネ活用へ

90万円

地域開発課

新エネルギーを活用して農産物の貯蔵実験を行い、数値データの収集を行うとともに、その調査結果から特産品の開発にかかる研究や知的財産化の取得等、更なる雪の利活用を検討する研究会組織を立ち上げ雪エネルギー活用日本一の町を目指します。

まちづくり

新エネ

以上、まちの予算についての主な使われ方についての事業概要を紹介しました。
不明な点がございましたら各担当課へお気軽にご連絡ください。



入学式

沼田の未来を背負う子が新たな道へ出発！

共成季節保育園 16名入園 渡辺 敏昭園長 4月5日入園式



沼田保育園 47名入園 土肥芳子園長 4月1日入園式



沼田幼稚園 30名入園 本庄 修園長

4月8日入園式



さくら組15名 担任 井上香奈先生



すみれ組15名 担任 高田 歩先生

小学校 22名入学

長野時敏校長

新しい先生の紹介

教 頭	壽崎 正人	芦別市立西芦別小学校より
教 諭	戸田 衣美	深川市立深川小学校より
教 諭	上口 直子	滝川市立西小学校より
教 諭	神下 哲明	北海道教育大学札幌校より
補助教諭	池端 美紗子	北翔大学より

安全祈願

役場主婦の会より、
手作りのかえるの
マスコットが新入
生へプレゼントさ
れました！



4月7日入学式

中学校 26名入学

瀬川明廣校長

新しい先生の紹介

教 頭	柏崎 尚人	幌加内町立幌加内小学校より
教 諭	土屋 正治	深川市立深川中学校より
教 諭	齋藤 崇	十勝教育局（中札内村教育委員会派遣）より
教 諭	梅木 悠太	北海道教育大学札幌校より



4月7日入学式

交通死亡事故死ゼロ4,000日まであとわずか！ 町民一体となった啓発運動

4月6日～15日の10日間、「春の交通安全運動」を展開しました。本年はこれまでにない多くの町民の皆さんの協力を得ながら、小学校の通学路を中心に街頭啓発を行いました。これまでも交通安全運動にご協力いただいております「沼田っ子サポーター」の皆さん、「北央道路」の皆さん、「北いぶき農協」の皆さんに加え、今回新たにご協力いただいた「沼田長生クラブ」の皆さんと



「旭町東町内会」「旭町西町内会」「市内4町内会」の皆さんにより、期間中の毎朝（14日の朝は雪が降りしきる中）、登校中の児童を見守りながら、通行車両に交通安全を呼びかけました。

4月8日には小学校前で沼田長生クラブ約30名の皆様により「旗の波運動」を実施し、下校する新1年生を見守りながら交通安全の啓発を行いました。

また、沼田町交通安全協会では、毎月10日を「交通事故死ゼロの日」と定め、各町内会の交通安全支部長を中心に街頭啓発を行うこととしています。

このように全町ぐるみによる交通安全運動により、6月10日の「交通事故死ゼロ4000日」達成に向け、これからもご協力くださいますようお願いいたします。



快晴の中、350人が滑り、楽しむ 明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い

3月27日、今回で18回目となる「明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い」（同実行委員会主催）が、ほろしん温泉ほたる館周辺の特設コースで行われ、各地から集まった愛好者ら350人が暖かい日差しの中歩き滑りました。

■参加者から感想が寄せられました…

沼田町の大会に参加しての感想・雑感

- ①細かな心遣いがなされ、至れり尽くせりのご配慮に感謝感激です。しかもあの積雪量には驚きました。
- ②歩いた後のお汁粉の美味しさは忘れられません。二杯も食べました。ゆったりとした大広間で食事が用意され、トイレ使用も万全、そして入浴のあとの臨時の休養所設置など癒されました。参加してよかった。来年も参加すると異口同音に皆様から声が挙がっていました。私は七十路の坂をころげ落ち、気管支も悪いので来年参加できるか心配ですが、前向きに来年は「前夜祭」から参加と思っています。来年夏の沼田町も知りたいので、家族で御地に出かける計画を立てているところです。関係者の皆様の労に感謝してお礼とします。

平成22年3月29日 岩見沢市 江藤 勲さん（75歳）より



深川更生保護女性会 「沼田すずらの会」総会

4月9日、就業支援センターに入所する少年たちの自立更生のために奉仕活動を行うことを目的とする「沼田すずらの会（藤村富子会長）」の総会が開催されました。

本会は設立から2年半が経ち、毎月定例に食事会やクリスマス会、餅つきなど開催し、少年たちの「母親」的な役割を担っています。



西田町長が講演 福祉委員研修交流会

3月31日、民生委員と福祉委員、社会福祉協議会職員や役場職員の約60名合同による福祉委員研修交流会が開催されました。

講演では、「安心／安全／福祉のまちづくりについて」と題し、西田町長から約1時間講話がありました。



まちづくり懇談会2010春開催 150名が参加

町の主要施策を中心に町民の皆さんと一緒に考える「まちづくり懇談会2010春」をし、4会場で約150名が参加されました。

懇談会では、町の主要事業（「まちのしごと（P20～）」をご覧ください）と本年7月以降、町内におけるゴミの収集方法について各担当課長から説明があり、活発な意見や質問をいただきました。

※**ゴミの収集方法については様々な意見が出ましたが、今後は自治振興協議会に委ね、町民にとってより良い方法が何かを協議していただくことになります。**

詳しいゴミの収集方法については、今後広報など通じて町民の皆さんへお知らせしていきます。



珍しい来客 蝦夷リス 登場！

市内4の田村忠行さん宅の中庭に蝦夷リスが現れ、近所の人気者となっています。

1月中旬に小鳥の餌として中庭に置いていたところ、体長20cmほどの蝦夷リスが餌を求めにやってきて、以降毎朝同じ時間に登場するそうです。



会員の健康づくりを！長生クラブ101名が体力測定

65歳以上のお年寄りでつくる「沼田長生クラブ」（野道夫会長）が3月12日、ゆめっくるで高齢者の体力測定会を行い、会員101名（男性39名・女性62名）が参加しました。

会員の健康づくりを目的に行われたもので、椅子に座り両足を何回で切るかを測定する座位ステッピングや立ち幅跳び、握力、片足立ち、5メートル歩行の計5種目が行われ、結果を点数化して体力年齢を測定しました。

会員の中嶋陽子さん（74歳）は「初めてだったけど、思ったより記録が良かった。これからも運動を欠かさないようにしたい」と話していました。



表彰

吉澤慶子さんが

沼田分屯地より感謝状

沼田分屯地で約二十年にわたり歴代の司令をはじめ、隊員の髪をカットしていた吉澤慶子さんが役目を終え、この度沼田分屯地より感謝状が贈呈されました。

分屯地創設からカットしていた吉澤さん。「分屯地に通ったことや、司令を始め、隊員の皆さんとお話できたことは私にとって貴重な体験でした。」と話してくれました。



渡部元団長に
名誉消防団員法被が贈呈

この春、沼田消防団長を退任した渡部 稔さん（旭町東）に、その功績を称え深川地区消防組合管理者より名誉消防団員の半被が贈呈されました。名誉消防団員となった方は沼田町では二人目です。

渡部さんは昭和三十三年に沼田消防団へ入団以来、平成四年には副団長を務め、平成十年からこの春まで消防団長として長年にわたり活躍されました。



ボランティア

お世話になった恩返し
ゲートボール協会

町ゲートボール協会（堀川明男会長）の役員ら五名がこのほど町民会館のワックス掛けを行いました。

同協会や愛好会で毎年行われているもので、二日間かけて講堂とホールのワックス掛けを行いました。同協会や愛好会では他にも同館のごみ拾いや冬囲い等も行っています。

堀川会長は「ゲートボール場として、冬場は多いときで月二十回以上利用することもあり、少しでも協力できれば」と話していました。



5/1 土 → 5/5 水

ゴールデンウィーク企画

イベント案内

楽しいイベント盛りだくさん！是非お越しを！

- 1日 ほのりんとじゃんけん大会
- 2日 ピンポンキャッチ
- 3日 ダンシングヒーロー
- 4日 ほのりん駄菓子まき
- 5日 代ピンゴ大会
今年もWiiなど豪華景品が！

ほたるの里オートキャンプ場の
受付開始しています！

受付電話番号は35-1166です。
お早めにご予約を！



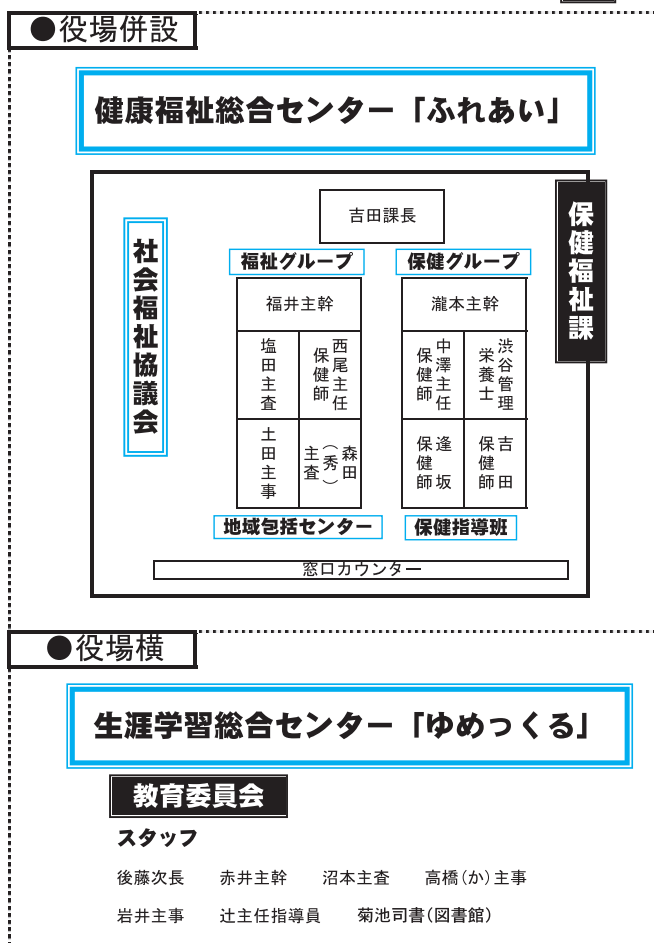
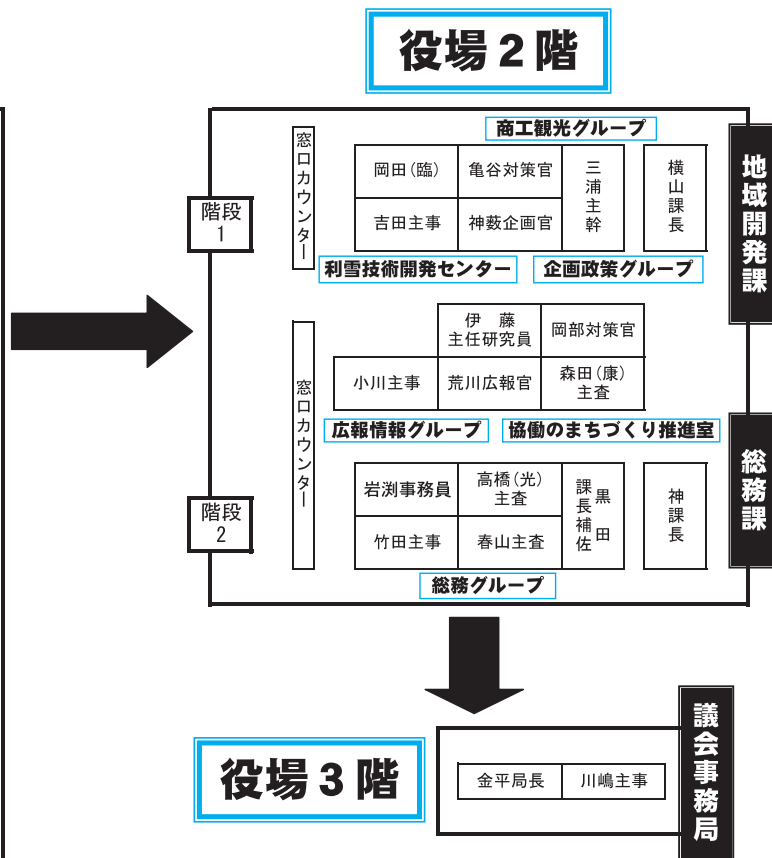
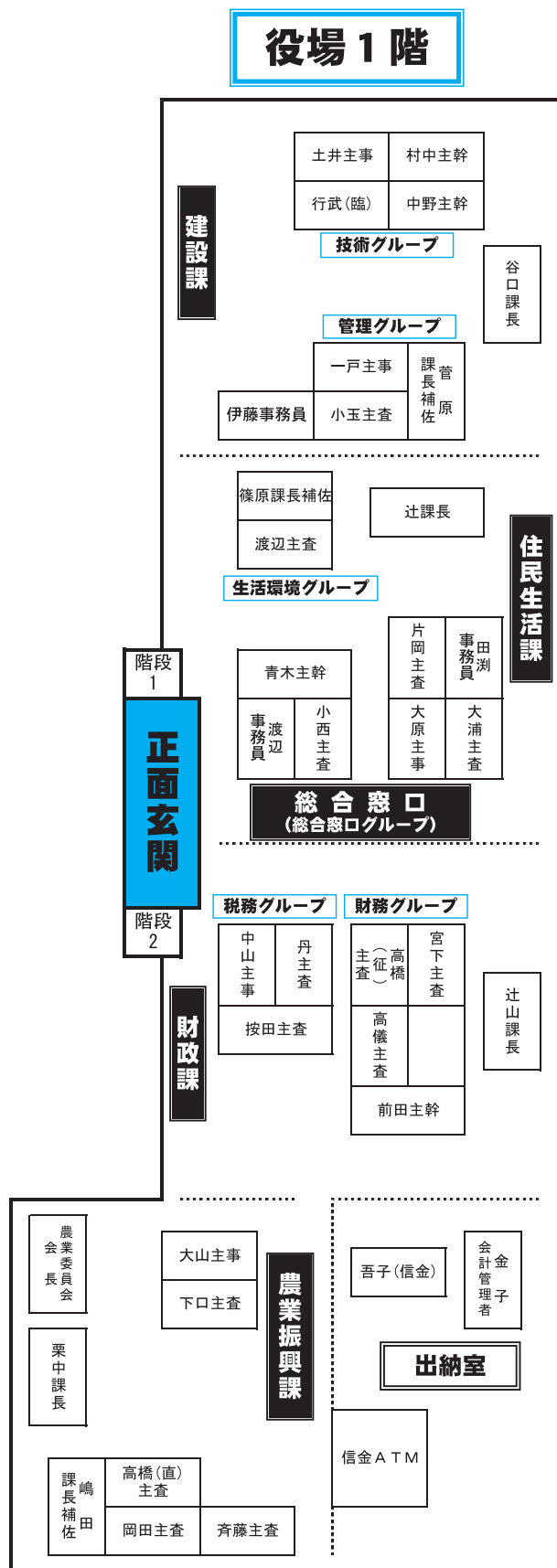
ゴールデンウィークは、
ほたる館へGO！

ほろしん温泉
ほたる館情報

TEL 35-1188
FAX 35-1144

◆職員の配置図（庁舎・ふれあい・ゆめっくる）

4月1日からの職員配置図です。お気軽にご相談ください。



化石体験館

4

29 OPEN!

化石体験館（夏季のみ・月曜閉館）

沼田町字幌新 381-1

TEL 0164-35-1029（気軽にお電話下さい！気さくな学芸員がお答えします！）

check1

見所

全長12mのクビナガリュウを中心に左右にプロトミンクジラやヌマタカイギュウなど沼田町から発見された動物化石の復元骨格が展示されています。また、世界でまだ1体しか見つかっていないヌマタネズミイルカのほぼ完全な全身骨格など、貴重な化石がいっぱいです！ぜひご家族でお越し下さい！



展示室の様子

check2

体験

本物のタカハシホタテ化石を発掘して持ち帰ることが出来る発掘体験コーナーや、アンモナイトとタカハシホタテのレプリカづくりも体験できます。また、今年から新たに「発見化石&クリスタル」もメニュー入り！本物のサメの歯の化石や、水晶などのクリスタルを取り出す体験です。もちろん取り出した化石やクリスタルはお持ち帰りいただけます！



発掘体験の様子

知っていますか！？

check3

料金

みなさんをご存知でしょうか！？見所たくさんの展示室、それと魅力たっぷりの体験メニューが町民の皆さんはなんと**無料**でご利用いただけます！やる気満々で行くもよし！ふらっと行くもよし！今年は一度だけでも化石体験館へ足を運んでみてください！



サメの歯の化石とクリスタル

図書館からのお知らせ

橋田賢吾さんより

本を寄贈していただきました！

ありがとうございます！

橋田賢吾さんから、ドカベン・大甲子園・キン肉マンなどの懐かしい漫画が図書館に寄贈されました。ドカベンや大甲子園は全巻そろっているの、ついつい読みふけてしまうこと間違いなしです。

寄贈された本は、ほたる館のティーラウンジの本棚にありますので、休憩などの折にはぜひ手にとって見てください。



司書のイチオシ



『ダーリンの頭の中』

こんにちは！図書館司書の菊池です。今月から私のイチオシの本を紹介させていただきます。

4月10日から上映されている映画「ダーリンは外国人」の原作者、小栗左多里と夫のトニーが書いた本です。内容は語学好きのトニーの頭の中にうずまいている語学についてのアレコレをのぞいてみた本。

中は漫画で、また分かりやすい説明なので、楽しく語学についての雑学を勉強できます。漫画と漫画の合間にある小話も興味深いですよ。最近、続編の「ダーリンの頭の中2」がでたので、合わせて読むと面白いと思います。



新刊図書

【一般書】

城は踊る
体温を上げると健康になる
妻を看取る日
超訳ニーチェの言葉

岩井三四二
齋藤真嗣
垣添 忠生
フリードリヒ
・ニーチェ

凍裂
GUIN SAGA 1・2
昭和三十四年二月北海道
母が重くてたまらない
もし高校野球の女子マネージャーが
ドラッカーの『マネジメント』を読んだら

喜多由布子
栗本 薫
広田 尚敬
信田 さよ子
岩崎夏海

【児童書】

つづきの図書館
おへやだいぼうけん
まくらのせんじん
そこのあなたの巻
おやつにまほうをかけないで
とら猫とおしょうさん
ふしぎなガーデン

柏葉幸子
ほりかわ りまこ
かがくい ひろし
さとう まきこ
小沢 俊夫
ピーター・ブラウン

新刊図書おすすめ!!

『龍馬「海援隊」と岩崎弥太郎「三菱商会」』 重門 冬二



土佐の下級武士・岩崎弥太郎は、いかにして商人となり、巨大財閥をつくり上げたのか？そして龍馬から受け継いだメッセージとは？師、ライバル、腹心たちとのエピソードを通して岩崎弥太郎の企業哲学に迫る。

『ロスト・シンボル』 ダン・ブラウン

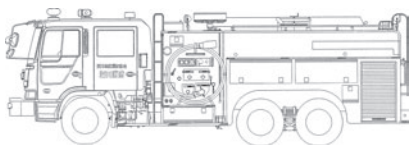


ラングドン、フリーメイソンの最高位階にあるソロモンに呼ばれ、ワシントンDCへと赴く。だがそこに待ち受けていたのは、ソロモンの切断された手首と「古の神秘」に至る門を解き放てという、なぞの男からの脅迫だった…。

『おいしいおかゆ』 グリム・ヤーコプ



どんなご馳走にもかなわない、おいしいおかゆの不思議なお話。人気作家の語り口と新進画家のフレッシュな銅版画の魅力があふれる、読み聞かせにもぴったりなグリム童話の絵本。



消 報

深川地区消防組合
深川消防署
沼田支署予防担当
TEL 35-2050

■子供が心肺停止 → すぐに蘇生術を行うと → 社会復帰2.6倍

事故などで子供が倒れて心肺停止になっても、そこに居合わせた人が蘇生術を試みることで、社会復帰の確立が2.59倍高まることが、わかりました。

主な蘇生術には胸を押して血液を脳に送る胸骨圧迫（心臓マッサージ）と人工呼吸の二つがあります。子供では大人と違って、胸骨圧迫だけよりも、人工呼吸を併せた方がいいこともわかりました。



■子供の心肺停止の特徴

心肺停止の主な原因は、水におぼれるなどの心臓病以外のトラブルで、それが全体の7割。

この場合、1歳以上の子に胸骨圧迫と人工呼吸を併せた時の復帰率は7.2%で、胸骨圧迫だけの時より5.5倍高いそうです。

成人では、胸骨圧迫だけで人工呼吸を伴うのと同等の効果があることが、国内外の調査でわかっています。

愛する人、愛する家族のため覚えよう、応急手当

119番通報してから救急車が到着する時間は、全国平均で6分30秒かかります。突然のケガや病気で心臓や呼吸が止まってしまった場合、その場に居合わせた方による、最初の3～4分の手当がその後の回復に大きく影響します。

大切な人の命を守るため「あなたの愛情と勇気」で心肺蘇生法を実施してください。消防ではいざというときに適切な対処ができるよう、心肺蘇生法を含めた応急手当の講習会を実施しています。

応急手当の講習会を実施しています！

※心肺蘇生法とは、心臓や呼吸が止まってしまった人への対処方法のことです。

- ① 倒れた人の状態の確認と、その場合の行動の仕方は？
 - ② 人工呼吸と心臓マッサージのやり方、及び行うタイミングは？
 - ③ AED（エーイーディー）の使い方は？
 - ④ 喉つまり、血が止まらない場合、ケガ、火傷（やけど）、熱中症などの応急手当の方法は？
- ①～④のような事を、救急救命士などの消防職員が、優しく指導いたします。

各種団体（町内会、職場、サークル等）向けの応急手当講習を随時受け付けます。お気軽にお問合せ下さい。

講習会の時間の長さは3時間が基本ですが、2時間での短縮バージョンもあります。

沼田消防 救急救助が担当です（城田・深瀬） 35-2050

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。
『警報器 あなたの危険 知らせます』



沼田警察署あんぜん広場電話よりお知らせ

TEL 3 5 - 3 1 1 0

山菜採りにおける事故防止

～ 山菜採り 無我夢中に 落とし穴 ～

例年、山菜の愛好家が、行者ニンニクやタケノコ採りのために入山し、道に迷ったり、沢に転落する事故が起きています。

慣れた山でも、油断すると「危険な落とし穴」があることを忘れないで、山菜採りを楽しみましょう。

【事故防止のポイント】

- ◆ 一人で山菜採りに行かない。
- ◆ 家族などに、必ず行き先と帰る時間を知らせる。
- ◆ 一緒に入った仲間と声を掛け合ったり、ラジオを鳴らすなどして、絶えずお互いの位置を知らせ合う。
- ◆ 自分がどこにいるのか、常に確認するようにしましょう。



自転車・オートバイの盗難被害の防止と 防犯登録の促進

～自転車には 丈夫な鍵と登録を～

～オートバイには

ハンドルロックとグッドライダー登録を～

- 大切な自転車やオートバイを盗難被害から守るために
 - ・丈夫な鍵を取り付け、確実に鍵をかけましょう。
 - ・オートバイには、ハンドルロックをしましょう。
- 万が一被害にあったときの早期発見のために
 - ・防犯登録の手続きをすることが大切です。
 - ・防犯登録の手続きは、指定された販売店でを行っています。
 - ・登録すると、登録番号や車体番号から持ち主が分かりますので、被害回復の可能性が非常に高くなります。
 - ・自転車の防犯登録は、法律で義務付けられていますので、登録していない方は、すぐに登録しましょう。

防犯登録を！

登録費用

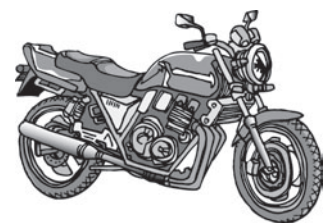
自転車

500円で10年間

オートバイ

1,000円で7年間

登録されます。



APEC警備への理解と協力の確保

～ 警戒警備にご理解とご協力を ～

北海道警察から、6月の「APEC貿易担当大臣会合」に関するお願いがあります。

北海道警察では、「国内外要人等の安全」と「道民生活の安全と安心」をともに実現するため、最善を尽くしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、APEC貿易担当大臣会合警備に伴い、札幌市内では交通混雑が予想されます。期間中は、公共交通機関のご利用や業務用車両の運行調整に、ご協力をお願いします。

平成22年度

住民健診のお知らせ

沼田町の皆さまの健康に役立てていただきますよう、平成22年度住民健診のご案内をします。

昨年度策定しました「健康増進計画」に基づき、沼田町の皆さまのために更なる健診体制の整備が必要であることがわかりました。

そこで今年度の**がん検診**は、より一層受けやすい検診を目指し「**がん総合検診**」を新たに準備いたしました。住民の皆様が少しでも受けやすい検診をご用意しておりますが、一部定員がありご希望に添えないなどご迷惑をかけるものもありますので、期日までにお申込下さい。

また、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための**特定健診**は、今年度で3年目を迎えます。これまで受けていただいた方は引き続き、残念ながらまだ受けたことがなかった方にも「受けてみたい」「受けて良かった」と思っていただけのように、健診・保健指導をご用意しておりますので、対象の方はぜひ受けましょう。

～申し込み方法～

健診ごとに対象者がちがいます。対象の方には、申込書を**世帯毎**にお送りいたしますので、そちらでご確認の上、期日までに必ずお申込下さい。

がん検診						特定健診		
	子宮がん	乳がん	胃がん	大腸がん	肺がん (結核)	国 保	国保以外	
対象者	20歳以上の女性 ※隔年対象	40歳以上の女性 ※隔年対象	35歳以上	40歳以上	40歳以上 ※65歳以上は結核検診と併せます	国民健康保険に加入している 30～74歳の方	※現在ご加入の医療保険にご確認下さい	
健診内容	頸部内診・細胞診	マンモグラフィ・視触診	胃X線造影	便潜血	胸部単純撮影 (略痰検査)	問診、身体・血圧測定、診察、血液化学検査、肝機能検査、尿・腎機能検査、血糖検査、心電図・眼底検査、貧血検査		
健診料金	1000円	1000円	1000円	1000円	1000円	1000円		
	生活保護・非課税世帯(要申請)、70歳以上の方は無料です							
					※略痰は無料			
旭川厚生病院	ふれあい総合健診 (於：ふれあい)							
	女性一日総合健診 (於：旭川厚生病院) ※バス送迎有(定員7月:55名/日,11月:30名) ※帰町は17時頃ですが、当日結果がもらえます							
	人間ドック 随時						人間ドック (於：旭川厚生病院)	
沼田厚生病院	人間ドック 随時						人間ドック (於：旭川厚生病院)	
	沼田厚生病院健診 ※上記いずれかの方法で特定健診が受けられなかった方がいらっしゃいましたら、後日設定します						沼田厚生病院健診	
対がん協会	がん総合健診 (於：対がん旭川がんセンター) ※10/26のみバス送迎有(定員30名) ※午前中で終わります						ご加入の医療保険で特定健診の医療機関としてがんセンターが指定されていれば、同時に受けられます	
	がん総合健診 (於：対がん札幌がんセンター) ※午前中で終わります							
	子宮・乳がん検診 (於：ふれあい) ※定員90名							
お願い 例年、乳がん検診はふれあい検診を希望する方が殺到します。都合のつく方は、お申込の時点で上記旭川厚生病院、もしくはがんセンターでの受診にご協力願います。								
隔年対象者に関係なく「無料クーポン」を配ります。後日詳しい内容もお知らせします。								

～申し込み方法～

健診ごとに対象者がちがいます。対象の方には、申込書を世帯毎にお送りいたしますので、それぞれでご確認の上、期日までに必ずお申込下さい。

旭川厚生病院

ふれあい総合健診
7月13日(火)～16日(金)
10月20日(水)～21日(木)

女性一日総合健診
7月20日(火)・29日(木)
11月11日(木)

人間ドック
随時

沼田厚生病院

人間ドック
随時

沼田厚生病院健診
※上記いずれかの方法で特定健診が受けられなかった方がいらっしゃいましたら、後日設定します

対がん協会

がん総合健診
10月26日(火)・随時

がん総合健診
随時

子宮・乳がん検診
12月3日(金)

昨年は健診を受けていただきありがとうございました！

みなさまのご協力で、各健診の受診率は、昨年を上回る結果となりました

がん
検診

- ◆胃がん 618人(受診率39.8%) ◆大腸がん672人(44.4%)
- ◆肺がん 645人(57.7%) ◆子宮がん174人(41.4%)
- ◆乳がん 173人(47.2%)



特定健診・特定保健指導（国保分）

◆特定健診 328人(37.4%)→目標受診率65%にむけて、更に増えました。

◆特定保健指導 46人(実施率93.9%)

◆特定保健指導以外の保健指導 28人

昨年以上に、禁煙成功者や食事量を見直し目標を達成した方が多くいらっしゃいました。また、30代の方も早めの生活習慣病を予防するきっかけになりました。

① 精密検査は速やかに、再検査は該当月に必ず受けましょう。

→該当になっても毎年受けない方がいらっしゃいます。一次健診の結果だけでは正しい診断結果が出ないものもありますので、健診の目的でもあります「早期発見」のためには指示通り最後まで受けることをお勧めします。

② 20代女性の方の子宮がん検診、40代以上で一度も受けたことがない方の乳がん検診ご注意ください

→他のがんに比べ好発年齢が低い子宮がん(25～30歳)は、好発年齢を含む20歳代の受診率がとても低い状況にあります。また、一度も受けたことがない方で、乳がんの進行がんが見つかるケースも増えています。対象の方は、ご家族、同僚の方などお誘いあわせの上お申込下さい。

無料クーポン券で受診しよう 女性特有のがん検診推進事業として、下記の方にお配りします
子宮がん：20・25・30・35・40歳の方 乳がん：40・45・50・55・60歳の方 ※H22.4.1到達年齢

③ 生活習慣病はメタボだけではなく、生活を見直すために特定健診は必ず受けましょう！
→医療保険者毎に用意される特定健診ですが、皆さま昨年は受けられましたか？毎年受けることが何より重要であり、受けた後の生活に活かすことが更に大切だったりします。

昨年に引き続き、北海道広域連合から委託を受け実施していきます。

《対象者》 健診当日75歳以上の方

※主治医がいらっしゃる方は主治医とご相談の上お申し込みください。

《日時》 7～8月予定

※くわしい日程が決まりましたら、受診券発行時にお知らせします。

《場所》 沼田厚生病院 【料金】 500円

《健診内容》 問診、身体・血圧測定、診察、血液化学検査、血糖検査、肝機能検査、尿検査

肝炎検査

《対象者》 今年度40歳になる方 ※これまで肝炎検査を受診したことがない41～74歳の方

《料金》 無料

《日時》 国保加入者～特定健診

(ふれあい総合健診・女性一日総合健診のみ)と同日実施

その他の医療保険加入者～8月・11月沼田厚生病院にて予定

《健診内容》 B型・C型肝炎検査(採血)

※くわしい内容が決まりましたらお知らせします。

介護予防健診(生活機能評価)

65歳以上の方を対象に、介護予防のための健診を実施します。

4月下旬に送付します各健診申込書に対象者を選定する「基本チェックリスト」を同封しますので必ず返信してください。

健診のお申込(希望しない理由含)は

5月18日(火)迄です

保健福祉課 保健グループ 保健指導班
35-2120

特定健診と後期高齢者健診は[総合窓口グループ]、
介護予防健診は[地域包括支援センター]でも対応します。

※お申込が遅れると受診できない場合がございますので、期日をお守りの上お申込下さい。

創立20周年、歴代10代目の司令

第十代沼田弾薬支処長兼ねて沼田駐在地司令に着任しました犬塚智朗二等陸佐です。当沼田分屯地は、平成二年三月に設置・編成され、今年度でちょうど二十周年を迎えます。人間で言うところの「二十歳」となるわけですが、このような重要な節目の年にしかも第十代司令として着任できたことを光栄に思います。この創設以来二十二年間、関係各位および地域の皆様に支えられ今日の沼田分屯地がこうして、北方防衛基盤の重要な一翼を担う兵站施設・組織として充実してまいりました。



北海道補給処沼田弾薬支 処長兼沼田分屯地司令

いぬつか
犬塚

としろう
智朗

S34.7.3生

二十周年という節目に当り、改めて気持ちを引き締め、任務達成にまい進しますとともに、地域の皆様とのひき続きの良好な関係を築いてまいりたいと思います。沼田町の皆様のこれまでのご協力に感謝申し上げますとともに、よりいっそうのお引き立てを賜りますようお願いいたします。趣味はサイクリング（毎朝自転車通勤）「地域のおいしい食べ物を食べたい」

親近感のある警察署に

西脇署長は、三月二十五日付けで前任の旭川中央警察署副署長から沼田警察署長に就任されました。西脇署長の趣味は多趣味で釣りや風景写真撮影、パソコンの自作など、特に竹細工にはまっているそうで今までに数え切れない小物を作成したそうです。「竹を見てるとほっと安らぐものがあります」。自宅に竹工房なる部屋を構え、休日にはノミ、カンナ、ノコギリを手に一日中、竹細工することもあるそうです。

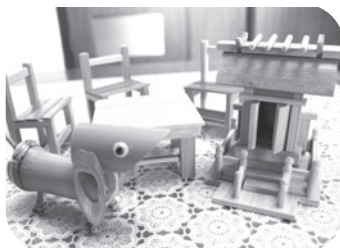


北海道旭川方面 沼田警察署長

にしわき
西脇

さだゆき
貞幸

S29.5.3生



署長自ら作成した竹細工の一部。見事な出来栄え！

最後に西脇署長から、「まちのためやれることを行政と一緒にやって取り組んでいきたい。親近感のある警察署にしていきたい。交通事故死ゼロ四〇〇〇日を達成したい」と今後の抱負を話してくれました。

愛着ある沼田町に

北村センター長は、昨年四月から本センターに赴任し、本年四月でセンター長に就任しました。現在当センターでは、入所者が四名、保護監察官の四名体制です。

「昨年来たときは」慣れない中でやってきたが、地元の人々のぬくもりを感じる町。特に明日萌の会、すずらんの会など各団体や近所の人との関わりが身近に感じます。」

趣味はドライブ、釣りですが、釣りは昨年は一度も行けなかったそうです。悩みは一年間で十キロ体重が増



旭川保護観察所沼田駐在官事務所
沼田町就業支援センター
センター長 保護監察官

きたむら
北村

よしみち
美道

S36.1.17生

えたそうで「今年の目標は体型を元に戻すこと」。

北村センター長は最後に「センターにきた少年たちが沼田に来て心を癒され、たくましく育っているということを全国に向けて発信したい。これからも町民の皆さんに温かく見守っていただいて、特別な存在としてでなく、ごく自然に沼田町にいられるセンターを目指したい」と抱負を話してくれました。

前沼田消防団 団長 渡部 稔氏、副団長 小泉清彦氏、杉原史郎氏が三月三十一日で退任するにあたり、四月一日付で両名が推薦され、新団長に渡辺健三氏、副団長に大原正己氏が就任し、新体制になりました。

両名とも団員暦が三十年以上と長く、災害に対する的確な判断や指示を出すことにより団員からも厚く信頼されております。

現在、団員数は八十五名と昨年に比べ六名の減少になりましたが、地域の防災活動にご尽力いただいております。



深川地区消防組合 沼田消防団

【団長】 渡辺 健三 (写真右)

【副団長】 大原 正己 (写真左)

近年は、火災や災害の多様化に伴い、近代消防についても常に対応できるよう団員の訓練に日々努力しています。

沼田町も高齢化が進み災害弱者が増加傾向にありますが、各地域にいる団員のネットワークにより、被害の軽減に努めていきたいと思っています。

沼田町が災害の無いよう日々啓蒙活動をしていくと共に、町民が安心、安全に暮らせるよう地域防災に貢献してまいります。

また、あわせて沼田町を災害から守る同志も募集しております。ので、我こそはと思う方はぜひどし応募願います。

気象台からのお知らせ

■気象警報が変わります

気象庁では、平成22年5月27日（予定）から、警戒の必要な地域をよりわかりやすくするため、気象警報・注意報を市町村を対象として発表します。例えば、沼田町に災害発生のおそれがある場合には、これまでは、沼田町を含む「空知地方」、「北空知」に対して警報・注意報を発表していますが、**平成22年出水期からは、「沼田町」と明示して発表します**。これによりお住まいの場所が警戒の対象となっていることがわかりやすくなります。

また、大雨警報を発表する際には、特に警戒が必要な災害を、「大雨警報（土砂災害）」、「大雨警報（浸水害）」のように警報名に併せてお知らせします。大雨や洪水などの警報は、テレビやラジオなどで放送されます。この際、画面の文字数や読み上げ可能な文章の範囲内でよりわかりやすく伝えるため、これまでどおりの表現で放送される場合があります。



市町村ごとの詳細な内容は

■気象庁ホームページ

(<http://www.jma.go.jp/>)

■国土交通省防災情報提供センターの携帯サイト

(<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>)

に掲載予定です。

お問い合わせは…札幌管区気象台業務課

TEL 011-611-3217



防災情報提供センター
携帯端末用QRコード

■気象台からのお知らせ

平成18年11月、佐呂間町で発生した竜巻で9名の死者が出たことは、記憶に新しいことと思います。この竜巻や雷、強い雨をもたらすのは、積乱雲（入道雲）です。積乱雲の近づく兆しとしては、「真っ黒な雲が近づき、周囲が急に暗くなる」ことや、「雷鳴が聞こえたり、電光が見える」などがあります。このような場合には竜巻や雷、強い雨の危険がありますので、すぐに近くの頑丈な建物など、安全な場所に避難しましょう。

気象庁では、積乱雲に伴う激しい現象に対する気象情報の改善に取り組んでおり、平成22年5月27日（予定）からは、竜巻などの激しい突風の発生する可能性を表す「竜巻発生確度ナウキャスト」と、雷の激しさを表す「雷ナウキャスト」の予報を開始することになりました。

屋外活動の前には、気象情報や雷注意報などの気象状況について、確認してください。

気象状況は、テレビやラジオのほか気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp/>）でも確認できます。



■保険料率が変わります

加入者（被保険者）の方にお支払いいただく保険料は、2年ごとに保険料率を決めることとなっております。

平成22年・23年度の新しい保険料率を、お知らせします。



後期高齢者医療制度

平成20・21年度 年間	平成22年・23年度 年間
43,143円	44,192円

■1,049円
増額となります。

◆所得割（加入者の所得に応じて負担）

平成20・21年度 年間	平成22年・23年度 年間
9.63%	10.28%

■0.65%
増となります。

<保険料の計算方法（平成22年度）>

保険料は、全て加入者（被保険者）の方にかかります。

保険料額は、加入者（被保険者）が等しく負担する「均等割額」と、所得に応じて負担する「所得割額」の合計で計算します。

世帯主や加入者（被保険者）の所得に応じて、保険料の軽減があります。

均等割 【1人当たりの額】 44,192円	+	所得割 【本人の所得に応じた額】 （平成21中の所得－33万円）×10.28%	=	1年間の保険料 （100円未満切捨て） （限度額50万円）
------------------------------------	---	--	---	--

※この保険料率に基づく平成22年度の保険料額は7月に「保険料額決定通知書」により個別に通知します。

①均等割の軽減

所得に応じて、均等割44,192円が以下のとおり軽減となります。

（軽減は、世帯の加入者全員と世帯主の所得の合計で判定します。加入者でない世帯主の所得も判定の対象となります。）

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合	平成21年度 (均等割額)	平成22年度 (均等割額)	比較
33万円かつ加入者全員が年金収入80万円以下で他の所得がない	9割軽減	4,300円	4,400円	100円増
33万円	8.5割軽減	6,300円	6,628円	328円増
33万円＋（24万5千円×世帯主以外の加入者数） ※単身世帯の方は該当しません。	5割軽減	21,571円	22,096円	525円増
33万円＋（35万円×世帯の加入者数）	2割軽減	34,514円	35,353円	839円増

※保険料の計算は、均等割額と所得割額を合算後に、100円未満を切り捨てます。

②所得割の軽減

前年の所得から33万円を引いた額が58万円以下の方は、所得割が5割軽減となります。

例）年金収入180万円の場合

●軽減判定⇒180万円-120万円（公的年金等控除）-33万円（基礎控除）＝27万円（軽減に該当）

●所得割⇒27万円×10.28%×5割＝13,878円＜年間保険料のうち所得割額分＞

③被用者保険の被扶養者であった方の保険料の軽減

この制度に加入したときに、被用者保険の被扶養者だった方（サラリーマンなどの健康保険の被扶養者だった方）は、所得割はかからず均等割が9割軽減となります。

保険料率の変更についてお知らせします
保険料の軽減についてお知らせします

【お問い合わせ先】 住民生活課総合窓口グループ TEL35-2115

今月のレシピ

「ラップのそぼろご飯」



栄養価（1人分）
 エネルギー 299cal
 タンパク質 14.4g
 脂質 4.6g
 カルシウム 13mg
 鉄分 0.9mg
 塩分 1.1g

…必要な材料（4人分）…

米…………… 1.5cup
 水…………… 適量
 鶏ひき肉…… 200g
 ★正油 …… 大さじ1.5
 ★砂糖………… 小さじ1
 グリンピース…16粒
 人参…………… 少々

【作り方】

- ①ご飯を炊き、1個60gずつラップに包んで丸め、ボール状にしておく。
- ②人参は小さく口の形に切って、グリンピースと一緒にサッとゆでておく。鶏ひき肉は★の調味料で炒り煮してそぼろを作る。
- ③ごはんボールに目と口をつけてラップで包み、上の部分にそぼろのをせてラップをしぼり、ラッピングひも等で結ぶ。

ビストロ
Bistro

NO. 24

★ ワンポイント ★

- ・パーティ料理等として最適です。そぼろは弁当のご飯に散らしてもよいです。

町民皆さんの声を聞かせてください！

今月号から広報誌とともに、皆様のご意見やご要望をお寄せいただけるよう折りたたみの封書を入れております。

町民皆さんの声を吸い上げ、町政に反映できるよう考えています。皆さんの貴重な意見・提案などをお待ちしております。

○提出の方法

■郵送 今回送付した封書は送料がかりません

■電子メール info@town.numata.hokkaido.jp

■ホームページ（町民の声総合窓口サイト）

<http://www.town.numata.hokkaido.jp/>

■ファックス 0164-35-2393

○回答方法

提出いただいた日から随時、回答します。

※詳しい内容については、今回同梱してある封書の裏面をご確認ください。

【問合せ先】総務課広報情報グループ tel 35-2111

今月号の赤ちゃんです。

2 善
 月 方
 14
 おお 杏
 母父 奈
 さんさん ちゃん
 んれ ん
 美 貴
 佳 志
 （長女）



（緑ヶ丘）

すくすく
 育ってね

ホームページをリニューアルしました！

町の最新の情報を発信していきますので是非ご覧ください。

<http://www.town.numata.hokkaido.jp/>
 「沼田町」で検索してください！

おくやみ

氏 名	月 日	年齢	住 所
江口 敏男さん	3月 20日	86歳	仲町西
川端 正平さん	3月 23日	92歳	市内7
近藤 政子さん	4月 7日	95歳	市1北

人の動き

人口3,695人（前月比▲54人）

（男 1,741人・女 1,954人）

65歳以上1,299人（高齢者率35.1%）

世帯 1,614戸（前月比▲31世帯）

○総人口増減内訳（3月の人口の動き）

増加…転入：12人 出生：1人

減少…転出：61人 死亡：6人

（平成22年3月31日現在）

交通事故死ゼロ

3930日

（平成22年4月1日現在）

次回の広報6月号は、6月10日発行予定です。



この広報誌は再生紙と大豆インクを利用しています。

町内の医療機関を守るため 沼田厚生病院を利用しましょう

ごみ収集カレンダー

平成22年6月～7月

6月 ◎旭町・市内1. 2. 3地区

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4 燃えるごみ 生ごみ	5
6	7	8	9	10	11 燃えないごみ 資源ごみ	12
13	14	15	16	17	18 燃えるごみ 生ごみ	19
20	21	22	23	24	25 燃えないごみ 資源ごみ	26
27	28	29	30			

7月 ◎旭町・市内1. 2. 3地区

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 燃えるごみ 生ごみ	3
4	5	6	7	8	9 燃えないごみ 資源ごみ	10
11	12	13	14	15	16 燃えるごみ 生ごみ	17
18	19 海の日	20	21	22	23 燃えないごみ 資源ごみ	24
25	26	27	28	29	30 燃えるごみ 生ごみ	31

6月 ◎市内4. 5. 6. 7・緑ヶ丘・仲町・南町・西町地区

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7 燃えないごみ 資源ごみ	8	9	10	11	12
13	14 燃えるごみ 生ごみ	15	16	17	18	19
20	21 燃えないごみ 資源ごみ	22	23	24	25	26
27	28 燃えるごみ 生ごみ	29	30			

7月 ◎市内4. 5. 6. 7・緑ヶ丘・仲町・南町・西町地区

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	6 燃えないごみ 資源ごみ	6	7	8	9	10
11	12 燃えるごみ 生ごみ	13	14	16	16	17
18	19 海の日	20	21	22	23	24
25	26 燃えないごみ 資源ごみ	27	28	29	30	31

6月 ◎農村地区

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 燃えるごみ 生ごみ	3	4	5 燃えるごみ・生ごみ
6	7	8	9 燃えないごみ 資源ごみ	10	11	12
13	14	15	16 燃えるごみ 生ごみ	17	18	19
20	21	22	23 燃えないごみ	24	25	26
27	28	29	30 燃えるごみ 生ごみ			

7月 ◎農村地区

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 燃えるごみ・生ごみ
4	5	6	7 燃えないごみ 資源ごみ	8	9	10
11	12	13	14 燃えるごみ 生ごみ	15	16	17
18	19 海の日	20	21 燃えないごみ	22	23	24
25	26	27	28 燃えるごみ 生ごみ	29	30	31

■ 7月よりごみ収集方法を変更する予定でしたが、変更のための準備期間が必要なため、7月は従来どおりとしますようお願いいたします。

☆ ごみの出し方の注意

◎お住まいの地区の収集日を確認し、収集日の午前8時までに自宅前（収集車通過道路）に出して下さい。

※農村地区の資源ごみについては会館（地区集会所）又は指定された場所に出すようお願いいたします。

◎「ごみ分別事典」を参考に正しい分別にご協力下さい。

※「ごみ分別事典」で変更となっているもの

毛布・布団 ⇒ 50cm以下に切り、燃えるごみ（切らなければ粗大ごみ）

木の枝 ⇒ 長さ50cm以下、太さ2cm以下は燃えるごみ

蛍光灯 ⇒ 長さ50cm以上、太さ2cm以上は、袋に入れば燃えないごみ・入らなければ粗大ごみ

パソコン ⇒ 購入時についていた保護筒（箱）に入れ、資源ごみ（保護筒がない場合は、新聞紙に包んで「蛍光灯」と書く）

冷蔵庫 ⇒ パソコンメーカーへ（PCリサイクル）

冷凍庫 ⇒ 販売店へ（家電リサイクル）

◎燃えるごみ・燃えないごみ・生ごみは、必ず指定の有料袋を使用して下さい。（有料袋は町内のお店で購入できます。）

★資源ごみの専用袋（ペットボトルとビン用のオレシジ袋・缶用の透明袋）がなくなった場合は市販の透明袋で今までどおりの分別で。

★紙パック、乾電池の資源ごみは、北いびき農協沼田支所店舗・生涯学習センター内にある回収ボックスへ。

◎商店や事業所から出るごみは、町では収集しませんが、直接処理施設へ搬入して下さい。

白目の分別にご協力ください

ごみの分別に関するお問い合わせは 沼田清掃 沼田清掃 沼田清掃

又は 住民生活課生活環境グループ

TEL 35-11136

TEL 35-21115

■ 直接搬入する場合

燃えるごみ・生ごみ

○北空知衛生センター組合 [10kgごとに100円]

※7/1より10kgごとに130円になります。

【深川市】TEL 23-3584

受入時間 平日 9:00~17:00

土曜・祝祭日は平日と同じ

日曜日 休み

燃えないごみ・粗大ごみ・資源ごみ

○北空知衛生施設組合 [10kgごとに100円]

※7/1より10kgごとに130円になります。

【妹背牛町】TEL 32-2282

受入時間 平日 9:00~16:30

土曜日 9:00~11:30

祝祭日 本来のその曜日と同じ扱い

日曜日 毎月第1日曜日のみ受入

9:00~16:30

受入できないもの

家電リサイクル品目（洗濯機・冷蔵庫・冷凍庫・テレビ・エアコン）、パソコン、オイル類、バッテリー、タイヤ、農機具、消火器、ガスボンベ、エンジン付草刈機、バイク

分別の種類

ごみ分別事典を参照

町民皆さんの声をお聞かせください！

皆様のご提案やご意見を幅広くお聴きし、町政に反映するように考えていますので是非ご活用ください。

【回答方法】

内容を確認し随時回答していきます。お寄せいただいたご意見の要旨を、広報誌やホームページ等に公表させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

個人情報等の取り扱いには十分注意し、個人が特定できるような内容での公表はしません。

【受付をお断りする内容】

- 特定の個人や団体を誹謗・中傷するもの
- 特定の個人や団体の営利を目的とするもの
- 選挙活動や宗教活動に関するもの
- 住所・氏名などの記載がないもの
- その他、趣旨に不相当と判断されるもの

【提出方法】

今回送付した専用封書を活用するか次のいずれかの方法でも提出できます。

■電子メール

アドレス：info@town.numata.hokkaido.jp

■ファックス

FAX番号 0164-35-2393

■沼田町ホームページ（町民の声総合窓口サイト）

<http://www.town.numata.hokkaido.jp/>

【お問い合わせ】

沼田町役場総務課広報情報グループ

TEL0164-35-2111（内線207）

料金受取人払郵便

旭川東支店
承認

7 0

差出有効期限
平成23年3月31
日まで

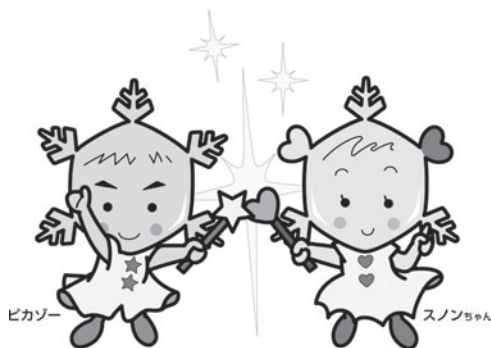
0 7 8 — 2 2 9 0

北海道雨竜郡沼田町南1条3丁目6番53号
沼田町役場総務課広報情報グループ

「町民皆さんの声をお聞かせください」係



折
れ
線



町民皆さんの声を聞かせてください！

今月号では、町の予算を中心とした内容をご紹介しました。皆さんが思う意見やご要望をお聞かせください。

■町の予算概要について

■自由記載欄（町に関するご意見・ご要望を自由に記載ください。）

○氏 名 _____

○住 所 _____

○電話番号 _____

※左記必要事項を必ず
記入願います。

※個人情報等の取り
扱いには十分注意
し、個人が特定で
きるような内容で
の公表はしません。